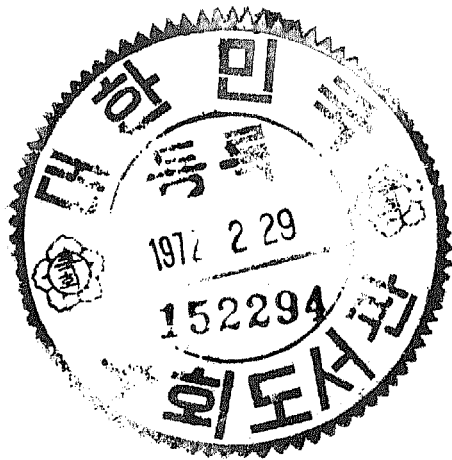


朝鮮に於ける同盟休校の考察

朝鮮總督府警務局



目次

一、同盟休校……………一

朝鮮に於ける同盟休校の特質……………朝鮮青年の二大思潮

二、向學熱の勃興……………二

舊時代の教育制度……………新學制の不振……………騷擾事件と向學熱
排日思想と同盟休校

三、同盟休校通觀……………七

同盟休校の年別道別比較……………盟休首謀學年……………學校別盟休回數
盟休事件百分比……………盟休の一般的傾向……………反米熱と盟休
私立學校の盟休

四、同盟休校の原因、種別……………二〇

(一) 學校設備 校規校則 學科其の他に關する盟休

第一類 學校改善に關する盟休

第二類、向學心、向上心の溢れと見らるる盟休
第三類、怠學廢類氣分に基く盟休

(二) 教員排斥に關する盟休

教員排斥の觀察……排斥の理由となりし教師の言行
民族意識に基く教員排斥

學校内部の出來事に基因する盟休

生徒間の出來事に基因する盟休

地方問題に關する盟休

(三)(四)(五)(六)

民族意識並左傾的思想の反影と認めらるる盟休

大正十五年國葬時前後の民心……同國葬前後の思想運動……全州高普盟休……淑盟女高普盟休……光州、松都、開城各高普盟休……徽新盟休に對する新聞の冷評……普成高普盟休……咸興高普盟休……東萊高普盟休……中央高普盟休……新興科學研究會の檄文……徽文高普盟休……第一高普盟休……東亞日報所掲、朝鮮普通教育の缺陷……同普校教員は鮮人を採用せよ……昭和三年盟休學校調……咸興高普盟休……咸興農校、商校及徽文高普盟休……釜山第二商業盟休……東京學友會外二團體の檄文……

五、同盟休校の結果……………二六

東萊高普盟休……光州高普盟休……光州農校、女高普盟休……晉州高普盟
休……水原高農盟休……大邱高普盟休……培材高普盟休……學生ストライ
キ擁護全國同盟……在中國韓人青年同盟のスローガン

結果調……處分調……刑事處分調

六、同盟休校の處理……………二三

學校の諭示……父兄會の斡旋……同窓會……左傾團體
結束の切崩……首謀者處罰……暴行者檢舉……學校の閉鎖

七、學生の秘密結社……………二六

(一) 大邱高普生を中心とする秘密結社

新友同盟……革友同盟……赤友同盟……一友黨……早司會
早司同盟……丘火會

(二) 京城學生團の秘密結社

了黨……讀書會

(三) 其他學生秘密結社

東萊高普生祕密結社……………革潮會……………無産青年會……………美興學校事件
 興農社

八、最近向學熱推移の裡面……………二六

文盲退治運動……………ソビエット民族政策……………世界革命
 主義宣傳の目標……………朝鮮共產黨に對する指導

朝鮮に於ける同盟休校の考察

一、同盟休校

朝鮮に於ける同盟休校の特質……朝鮮青年の二大思潮

學生の同盟休校は從來内地に於ても屢々行はれ敢て珍とするにあらざるも朝鮮に於ける同盟休校は朝鮮が特種の事情にある點に於て特に新教育を受けつゝある新附同胞にして且つ第二の國民たる點に於て特別なる注意の必要がある。

近來朝鮮青年の思想を支配し又將來支配するに至るであらふ二つの思潮は民族主義思想と共產主義思想である。此の二つの思想は常に合流或は交錯して種々の青年學生の運動に現れて居る。最近社會の注意を惹く様になつた學生の同盟休校も其の一表現として見らるゝものあるに至つたことは特に注意を要すべきである。同盟休校の根本を考察するには先づ朝鮮に於ける向學熱の勃興を觀察せなければならぬ。

二、向學熱の勃興

舊時代の教育制度……新學制の不振……騷擾事件と向學熱……排日思想と同盟休校

朝鮮に於ける舊時代の教育制度は李朝の初期(太祖七年)に大學を京城に設け成均館と稱し地方郡縣に郷校を置き田番を與へこれを以て維持に充てしむる制度であつた。是即ち今日の郷校財産の起源である。此の外に京城には東、西、中、南の四學があつて之等は皆官學であつた。地方に於て今日も尙散見せらるゝ書堂は何れも私學で之等書堂を卒へた者は郷校に入つて教を受け進んで成均館に入るを順序とし科擧に登第して官吏に登用せらるゝを唯一の目的とし李朝末期迄此の制度が續いた。

明治二十七年日清戰役の結果朝鮮の國礎明かとなるに及び日本の制度を模倣し新學制を定めたが其の運用宜しきを得ず實效を擧ぐるに至らなかつた。

明治三十七年日露戰爭の結果日韓協約の成立に及び日本より學政參與官を聘し學校の首腦とし茲に一新紀元を劃し更に日韓併合實施され朝鮮教育令の發

布を見愈々新學制の樹立を見るに至つた。

然るに久しき因襲に染める一般の思想は漢籍を専修せざる新教育は彼等の修用を繋ぐに足らず且つ日韓併合を潔しとせざる徒輩は其の教育方針に疑ひを懷き故國と云ふ觀念を失ふに至るものと考へ就學を欲する者甚だ少く地方の書堂は依然として盛況を呈して居た。今大正元年以降の書堂數を調ぶるに次の通りで大正八年迄は漸次増加の傾向を辿つて居た。

自大正元年
至昭和元年 書堂普通學校對照表

普通學校	書堂	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	昭和元年
	冊	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇
	冊	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇
	冊	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇
	冊	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇
	冊	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇
	冊	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇
	冊	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇
	冊	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇
	冊	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇
	冊	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇
	冊	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇
	冊	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇
	冊	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三六〇

然るに大正八年朝鮮獨立騒擾事件以來俄かに新教育を欲し向學熱は一時に勃興し書堂は漸次衰退するに至つて昭和元年には大正元年より二千百五十二を減じて居る

斯く向學熱が一時に勃興した所以は彼の朝鮮獨立騷擾事件の動機誘因となつた米國大統領ウイルソンの民族自決主義が期待に外れ平和會議にも華盛頓會議にも亦太平洋會議にも朝鮮問題の如きは更に顧らるゝ模様もなく彼の膨大な國土と無限の經濟力と世界大戰を口實に急造した兵力とに深き信頼を置き民主自由の旗高く振り翳し正義人道を高唱する彼の米國の支持後援に依り朝鮮の獨立を圖らんとしたことが全くの夢想に過ぎなかつたことを覺り茲に初めて他力主義を捨て自力を以つて獨立に進まざるべからざることに氣付いたのである。それには所謂文化を促進し實力を養成せざるべからずと爲し文化の本源は教育にありとて所謂向學熱が嶄然として現はるゝに至つた。又地方に於ける頑固者流にありては萬歲運動が新教育を受けたる者及學校生徒が中堅となり其の行動が機敏で秩序のあるのを見て新教育必ずしも祖國の觀念を滅却せしむるものにあらず否寧ろ新教育ならざるべからずと云ふ觀念を懷くに至り就學兒童は一齊に激増し既設學校のみでは收容困難となり當局は俄に學校建設にかゝり遂に三面一校二面一校と進み今又一面一校の實現も近き

將來に見らるゝ様になつた。

斯の如くして勃興せる向學熱の中には既に不純とも云ふべき或るものゝ潛在が認識され、此の思想の中に勉學に志しつゝある朝鮮學生の運動隨つて同盟休校の裏には、自然に民族的思想の流れが多分に漂つて居ることは明かである。殊に初等學校に於てすら同盟休校が行はれることは確に朝鮮の一特色である。然し之れを以て同盟休校原因の總てと爲すは當らない。中には天真爛漫なる兒童の眞の慾求が偶々同盟休校なる好ましからぬ形式に依つて表現されたものも少からぬことに注意すべきである。

三、同盟休校通観

同盟休校の年別道別比較……盟休首謀學年……學校別盟休回數……盟休事件百分比
 盟休の一般的傾向……反米熱と盟休……私立學校の盟休

同盟休校累年比較表

道別	官立		私立		年次別 程度別
	公立	私立	公立	私立	
	初等 中等 高等	初等 中等 高等	初等 中等 高等	初等 中等 高等	
忠清北道	計				
	初等				
	中等				
	高等				
	初等				
	中等				
	高等				
	私立				
	公立				
	初等				
	中等				
	高等				
京畿道	計				
	初等				
	中等				
	高等				
	初等				
	中等				
	高等				
	私立				
	公立				
	初等				
	中等				
	高等				
道別	計				
	初等				
	中等				
	高等				
	初等				
	中等				
	高等				
	私立				
	公立				
	初等				
	中等				
	高等				
昭和十一年正	一〇	一七	一	一	
昭和十二年正	一四	一二	一	一	
昭和十三年正	一	二九	一	一	
昭和十四年正	五	二	三	三	
昭和十五年正	四	六	二	四	
昭和十六年正	五	六	一	二	
昭和十七年正	二	〇	九	一	
昭和十八年正	一	四	八	一	
昭和十九年正	二	一	三	一	
累計	一七	二二	一七	一七	

慶尙南道		慶尙北道		全羅南道		全羅北道		忠清南道	
私立	官公立	私立	官公立	私立	官公立	私立	官公立	私立	官公立
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
高等、 專門	初等、 專門	高等、 專門	初等、 專門	高等、 專門	初等、 專門	高等、 專門	初等、 專門	高等、 專門	初等、 專門
二	二			一	一			二	一
八	六	二	一	六	一	二	一	一	一
六	二	二	一	四	二	二	二	二	一
				四	一	三	二	一	
二	一			一	一	二	二	二	二
		二	一	一	一	七	三	三	二
八	二			四	二	五	三	九	一
一	七			二	一	八	三	四	一
三	七	二	二	一	四	三	一	一	一
三	一	五	四	二	一	一	六	二	一
八	〇	一	四	八	四	九	二	〇	三

江原道		平安北道		平安南道		黃海道		道別
私立	官公立	私立	官公立	私立	官公立	私立	官公立	官立別
計	計	計	計	計	計	計	計	年度別
高等、 專門	中初 高等、 專門	高等、 專門	中初 高等、 專門	高等、 專門	中初 高等、 專門	高等、 專門	中初 高等、 專門	年度別
								十 大 年 正
		三	一	二	三	二	一	十 大 一 年 正
		三	一	四	四	三	二	十 大 二 年 正
		五	二	五	一	一	四	十 大 三 年 正
		八				二	二	十 大 四 年 正
		五		五	一	二	二	昭 和 元 年
		三	一	一	一	一	一	二 昭 年 和
		一	三	二	二	三	一	三 昭 年 和
二 九	二 三	二 四	七 二	一 四	二 〇	四 三	七 四	累 計

考 備	合 計		咸鏡 北道		咸鏡 南道	
	私 立	官 公 立	私 立	官 公 立	私 立	官 公 立
	計 高 等、 專 門 等 初 等 等	計 高 等、 專 門 等 初 等 等	計 高 等、 專 門 等 初 等 等	計 高 等、 專 門 等 初 等 等	計 高 等、 專 門 等 初 等 等	計 高 等、 專 門 等 初 等 等
	二 三	一 二 二	一 三 四		二	一 一
	五 二	二 六 二	一 五 八	一 六	三 二	一
	五 七	二 五 七	一 七 五	二	五	二 一
	一 四	三	六 五			
	四 八	二 六 八	三 二 〇	一 九	一 五	三
	五 五	八 六	一 二 七	一 三 四	二 二	
	七 二	一 六 六	二 三 〇	一 三 二	一	六 五
	八 三	二 五 五	二 二 七	一	二 三	三 五
	四 〇 四	一 二 三 五 一 六	一 七 五 九 六	一 五 三	一 一 二 三	一 一 一 五

同盟休校は大正十年以降の件数を調ぶるに

大正十年	二三	大正十四年	四八
大正十一年	五二	大正十五年	五五
大正十二年	五七	昭和二年	七二
大正十三年	一四	昭和三年	八三

通 計 四〇四

累年の通計を以て道別に見るに

第一位	京畿道	七七	第二位	咸鏡南道	五一
第三位	黄海道	四二	第四位	慶尙南道	三八
第五位	江原道	二九	第六位	全羅北道	二九
第七位	全羅南道	二八	第八位	平安北道	二四
第九位	平安南道	二〇	第十位	忠清南道	二〇
第十一位	忠清北道	一七	第十二位	咸鏡北道	一五
第十三位	慶尙北道	一三			

と云ふ順序になつて居る

又盟休主謀者を學年の上より見たる件數、盟休の時期、二回以上盟休せし學校及盟休の百分比等は次の通りである

同盟休校首謀學年調

	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年	計	首謀學年不明ノモノ	合 計
大正十年	三	五	四	四	一		一七	六	二三
同 十一年	三	七	二	九	四	五	三九	一三	五三
同 十二年	五	五	九	七	三	六	三三	三三	五七
同 十三年	一		三	五		二	一一	三	一四
同 十四年	二	四	三	一七	四	三	四一	六	四八
同 十五年	二	四	六	八	五	一六	四一	一四	五五
昭和元年	五	一六	七	五	五	一七	五五	一七	七三
昭和二年	三	一六	一七	一一	一〇	一五	七二	一〇	八三
同 三年	三	一六	一七	一一	一〇	一五	七二	一〇	八三
計	△ 二四	△ 三三	△ 三〇	△ 三三	△ 三三	△ 三〇	三一一	九一	四〇四

備考 △印ハ初等校數ヲ示シ右稱數字ニ含ム

同盟休校の起りたる月別調

計	同 三 年	昭 和 二 年	昭 和 十 五 年	同 十 四 年	同 十 三 年	同 十 二 年	同 十 一 年	大 正 十 年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
三	五	三	五	四	一	五	七	一													
三	六	二	四	三	一	六	三														
一	三	一	一	五	一	二	二														
二	六		六	四	一	六	二														
五	一	七	七	一〇	二	九	四	一													
八	二	四	八	三	七	六	五	三													
三	八	六	二	六		五	四														
五	一	一	一			一	一														
二	四	二	一	一		三	五														
四	九	七	四	四		四	七	六													
四	三	一	五	五		六	七	八													
二		七	一	二	一	四	五	四													
四〇	八	七	五	八	一	七	三	二													

自昭和三十年二回以上盟休せし學校調 (官公立)

中等學校以上

學校名	大正	昭和	計	學校名	大正	昭和	計
	十年	二年			十年	二年	
光州高普	—	—	四	全州農業	—	—	三
海州高普	—	—	二	咸興農業	—	—	三
全州高普	—	—	二	沙里院農業	—	—	二
京城第一高普	—	—	三	春川農業	—	—	二
東萊高普	—	—	三	北青農業	—	—	二
大邱高普	—	—	二	咸興商業	—	—	三
鏡城高普	—	—	二	麗水水産	—	—	三
咸興高普	—	—	二	水原高農	—	—	三
平壤農業	—	—	二	法學專門	—	—	三

自大正十年
至昭和三年 同盟休校一箇年平均に對する百分比

百分比	高等、專門校		中等校		初等校		合計ニ對スル
	官公立	私立	官公立	私立	公立	私立	
	一四、六三〇	三三、三〇〇	九、〇三〇	六、七五〇	一、〇〇〇	一、〇〇一	一七、〇三〇

學校總數ハ昭和元年末現在ニ依ル

大正八年以前に於ては朝鮮に於ける思想方面の運動は全く無風状態で同盟休校の如きも極めて少く偶之れあるも極めて平凡で全く社會の注目を惹くに足らなかつた。大正八年以降に於ては一般朝鮮人の民族運動は頗る露骨となり動もすれば制度其の他に對する反抗が勃發し騷擾事件直後に於ては排日的意味の盟休も續出し國際祝日等に際し式典に列するを嫌ひ此の機を利用して排日宣傳を爲さんとするの風も見へた。然し之れは騷擾の餘波を受けた一時的傾向で逐て高潮した向學熱の勃興に依つて直に緩和されたが然し尙學生の不平不満が時折同盟休校なる形式に於て發露するに至つた。然し之れも亦一面から見れば彼れ等が多少横文字でも見へる様になつて自惚れを生じ世事俗

情に通ずるに至り従來崇敬の的であつた教師が漸次底落して見ゆる様になり實際はそうでなくとも彼等は教師と自分との距離が左程迄遠くなく僅が數十歩乃至數百歩に過ぎないと云ふ様な判断を下し輕侮の念を生ずるに至り更に又彼等の自覺即ち自分等も勉強すれば他に負けるものではないと云ふ強い自信が出来たことにも起因し、新教育を受けれた青年學生の舊道德舊習慣に對する反抗的氣分が師長に對する尊敬を缺ぐ様になつたことも其の一つとして數へられるのである。現に某女學校に於て舍監が舊思想の抱持者なるの故を以て排斥したる事例あるに見ても一面の事實である。更に又歐洲戰爭後世界を風靡したデモクラチック思想に胚胎した誤つたる自由主義思想から放縱を喜び秩序規律を壓制なりと稱する不眞面目者の妄動もあるので之等總てを民族的反感とのみ見ることは出来ないが尙時に或は稍明瞭に又時に或は極めて曠曠の間に之れが存在を認識し得る場合が尠くない。殊に別表に示すが如く最近一二年の間に中等學校の盟休事件に於て鮮明に露骨に之れが表現せらるゝに至つたことは特に注意を要すべきである。

今毎年の發生件數に就て官立學校と私立學校とを比較して見るに大正十年十一年十二年は共に私立學校の方が多し。朝鮮の私立學校は多く米國南長老派系ミツシヨンスクールで之等學校に於ては、例の騷擾事件がツイルソンの民族自決主義の刺戟に誘發され、米國が盛に唱導した正義人道主義に深く頼むところがあり、且つ在鮮米國宣教師等は暗に騷擾を聲援するが如き態度ありしに拘らず、平和會議華盛頓會議等に於ては之れに一瞥も與へられず米國の頼むに足らざるを覺り其の不信に反感を抱き更に當時外交界の問題として社會の注目を惹いた米國の排日運動に對する反感と混同して鮮内外に反米熱が起り米國系教會に於ては信者の激減を見たことがあつた。此の反影が私立學校に盟休を誘發するに至つたのである。尙一面に於ては向學熱の勃興に伴ひ山間の僻地に至るまで堂々たる校舍が建設さるゝ様になり之等私立學校は俄に其の設備教具教材等總てが貧弱に見へ學生の淺薄なる思慮に依り設備の改善を要求して盟休を行ふに至つたのである。大正十三年十四年は稍沈靜の模様が見へたが十五年に至り再び擡頭し、昭和二年に於ては七十二件、昨年

は八十三件を數ふるに至つた。之れ常に民族的反感を煽り矯激なる言論を事とし毒筆を振ひ好で民族鬭争階級鬭争を指導するが如き態度を爲し學校鬭争なる新熟語を用ひ學校に於ても鬭争を教練すべし等の極端なる言辭を弄する諺文新聞雜誌の刺戟と左傾主義者等が隱密の間に煽動して同盟休校を以て民族運動階級鬭争の一試練として敢行せしむるに至つた結果である。

四、同盟休校の原因、種別

(一) 學校設備 校規校則學科其の他に基因する盟休

第一類 學校改善に關する盟休

第二類 向學心、向上心の溢れと見らるゝ盟休

第三類 怠學廢類氣分に基く盟休

(二) 教員排斥に關する盟休

教員排斥の觀察……排斥の理由なりし教師の言行……民族意識に基く教員排斥

(三) 學校内部の出來事に基因する盟休

(四) 生徒間の出來事に基因する盟休

(五) 地方問題に關する盟休

(六) 民族意識並左傾的思想の反影と認めらるる盟休

大正五年國葬時前後の民心……同國葬前後の思想運動……全州高普盟休

淑盟女高普盟休……光州、松都、開城各高普盟休……嶺新盟休に對する

新聞の冷評……普成高普盟休……咸興高普盟休……東萊高普盟休……中央

高普盟休……新興科學研究會の徵文……徵文高普盟休……第一高普盟休

……東亞日報所揭朝鮮普通教育の缺陷……同普校教員は鮮人を採用せよ

……昭和三年盟休校調……咸興高普盟休……咸興農校、商校及徽文高普盟
 休……釜山第二商業盟休……東京學友會外二團體の徽文……東萊高普盟休
 光州高普盟休……光州農校、女高普盟休……普州高普盟休……水原高農盟
 休……大邱高普盟休……培材高普盟休……學生ストライキ擁護全國同盟……
 ……在中國華人青年同盟のスローガン

同盟休校の原因竝に種別に就ては(一)學校設備、校規校則學科其他に基因する盟休(二)教員排斥に關する盟休(三)學校内部の出來事に關する盟休(四)生徒間の出來事に基因する盟休(五)地方問題に關する盟休(六)民族意識竝に左傾思想の反影と認めらるゝ盟休の六部門に分類して觀察するに次の通りである。

(一)學校設備 校規校則學科其他に基因する盟休

此の項に屬する盟休を更に第一類、第二類、第三類に分類し第一類には學校の校舍設備其他改善に關する事項を集め、第二類には學年延長學科及教授時間の増加等主として向學上に關する事項を收め、第三類には訓練訓育、校規校則竝に學科に對する不平不滿を訴へた廢類的氣分に基く事項を掲ぐることにした。

(1) 第一類

合 計	私立	官立	公立	中等 初等	十一年正		十二年正		十三年正		十四年正		昭和十五年		昭和十六年		昭和十七年		昭和十八年		累 計
					以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等	
八	七	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三	二	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一五	一三	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一〇	五	五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九	八	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二二	九	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
六	一	五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七	五	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二六	一五	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三三	二五	八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三三	七	五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一七	七	一〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
八七	五三	三三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四六	二七	一九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

同盟休校の原因、種別

合 計	計 (官公立 私公立)	規程外科目廢 止ニ不滿ヲ抱 (官公立 私公立)	行フコト 地樞要地ニテ (官公立 私公立)	入學試驗ヲ内 入學募集人員 増加要求 (官公立 私公立)	大正			昭和			累 計	
					以上 初等	中等 初等	大正十五年 昭和元年	以上 初等	中等 初等	昭和 元年		
二	二											
六	四二		一	一								
九	五四											
二	二											
二	二											
三	一四八			一								
一	一三六											
四	四二											

(3)
第三類

校規校則其ノ 他罰親等ニ關 スル不平 (官公立 私公立)	修業年限延長 反對 (官公立 私公立)	大正			昭和			累 計
		以上 初等	中等 初等	大正十五年 昭和元年	以上 初等	中等 初等	昭和 元年	
一								
一								
一	三三							
二	六							

實習時間ノ減少 要求ニ變更スル 實科教育ノ方法 對スル不平等	農地墾闢ノ私立學校 ニ於テ是等ノ事 手傳ハシメタル爲メニ	端午ノ節旬ニ 休業セザリシ 故	遠足ヲ中止シ タル爲	教師ノ生徒ニ 對スル處置ニ 反抗シテ	不良生徒ノ處 罰ニ同情シテ	生徒ノ考案ニ依ル 聯合ノ討論ノ内容 シタルニ非テ物々 自カラストシテ	貧窮兒童ノ保 護會費廢止ラ 要求シテ	窓硝子破損賠 償ノ廢止ラ望 ミテ
私立	私立	私立	私立	私立	私立	私立	私立	私立
1	1	1	1	1	1	1	1	1
1								
1								
10	5	1	1	1	1	1	1	1

同盟休校の原因、種別

合 計	計	一 十 大 年 正		一 十 大 年 正		一 十 大 年 正		一 十 大 年 正		一 十 大 年 正		昭 和 十 五 年 年		二 昭 和 年 和		三 昭 和 年 和		累 計		
		以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等	計
一	一																			
一	一																			
七	四三																			
一	一																			
六	四二																			
二	二																			
一	一																			
五	五																			
二	二																			
六	二四																			
一	一																			
四	一三																			
二	三八																			
一〇	二八																			
一九	五四																			
三	二六																			
三	二二																			
六	六																			
六	六																			

(二) 教員排斥に關する盟休

여 백

教員排斥に關する同盟休校は前表に示す通り昭和二年迄の累計が三五四件之れを内鮮人別にすれば内地人教員の排斥が一八五、鮮人教員の排斥一六四、外國人が五を示し中等學校以上に於ける教員排斥は一九〇初等學校にありては一六四を表して居る。尙排斥の理由を類別すれば人格及素行言行に對する排斥と教授法に關する排斥が最多を占め前者が一〇八後者が一〇〇を示し件數も相伯仲して居る。生徒の處遇に基く排斥は生徒に體罰を加へたるに基くもの階級意識に基く盟休は在來の社會階級意識に基くものである。今排斥の理由となりし教師の素行言行其の他を例示すれば次の通りである。

一、某校長は部下職員を遇するに甚だ冷酷にて職權を濫用し猥りに私的行爲に迄干渉し職員間の圓滿を缺き屢爭論することあり生徒に對し亦甚だ苛酷にして放課後遊戯中の生徒が教員室に後を向くるときは直に之を叱責する等狂的にして父兄に對して傲慢部民を蔑視する等に依り排斥せらる。

一、某外人校長は何等識見なきに拘らず動もすれば人格を無視し横暴の行爲ありとの非難高きのみならず生徒に對しても聖書研究を強ふる爲一部職員

の間にも其の非常識を語るものあり生徒等も亦一様に校長を誹謗しつつありしが偶々某日全生徒を集め信仰不熱心なるを責めたるに生徒等は其の愚を冷笑し一生徒は宗教は正科なりやと多少反抗的態度を以て質問したるに同生徒を校長室に引き入れ暴力的制裁を加へたるに之を聞きたる一般生徒は盟休するに至れり。

一、某教師は平素監督嚴重なる爲生徒の氣受け面白からざりしが偶々某地に修學旅行を爲したるに旅行中屢々指定の時間を誤り或は豫定外の舟遊若くは紀念撮影を迫る等不規律なる行動多かりし爲め再三嚴戒したるに對し反感を抱き盟休す。

一、汽車通學せる一生徒が車掌と喧嘩したる爲鐵道側より學校に交渉あり調査の結果生徒に不都合の點ありしを以て鐵道側に謝罪せしめたるに生徒中には職員が生徒を無視して鐵道側に同情したりとて憤慨し他に口實を設け盟休す。

一、生徒に對し實科教育の一助として養鶏を爲さしめありしが同様の趣旨に

て更に養蠶を爲さしめ其の所要桑葉は生徒をして歸宅後山桑の採取を爲さしめ居りしが桑葉採取の如きは一里餘の山野に赴かざるべからざる者もあり勉強に影響ありとて一般に之を嫌忌し盟休す。

一、歴史時間に「當地の古跡を見るに諸子の祖先の偉大なりしを知るに足る然るに諸子の如く怠惰にては到底祖先の如き偉人物にはなれざるべし」と訓諭したるに生徒は祖先を侮辱したるものなりと曲解し盟休す。

一、校庭に於て櫛鏡其の他裝身具を携へ居たるを訓戒したるに校長に對し不平を抱き排斥の爲盟休す。

一、女生徒の「赤玉」云々の唱歌に對し冗談に「白玉」云々と謂ひたるに端を發し男生徒は之が釋明を求め延て朝鮮日報記者と論争となり遂に盟休に至る。

一、唱歌教授中一生徒が足踏せざるを戒めたるに俄然故意に足踏を大にし教師の制止に應せざる爲室外に放逐したるを不平とし盟休す。

一、農業教授に當り生徒等は交互に奇問を發し説明を求むるを以て「汝等は教師を苦むる爲めに如斯非常識なる質問を爲すものなり」と詰りたるに「然

り師は過日我等に何も知らずと言へり故に我等は博學多識なる教師の試験をなすものなり」と挑戰的態度に出でたるを以て教師は一應授業を打切りたるに生徒等は校長に對し我等は質問に應答出來ざるが如き教師の下に勉學を欲せず良教師を招聘され度と要求して盟休。

一、教室に備付の暖爐が不完全の爲煙洩れ教室内燻り居たるを教師は曩に生徒が白墨箱に蛙を入れ置きたることありしを聯想して今回も自分に對する惡戯なりと誤信し生徒を室外に集合せしめ詰責したるを不満とし盟休す。

一、受持訓導年少なる爲生徒より（生徒中には教師より年長又は同年者多し）輕蔑されありしが偶々某日教室掃除不十分なりとて生徒一同を訓告したるに反感を抱き盟休す。

一、某校四年生は無届にて校庭にて蹴球會を開催せるを以て校長は平素の訓示に反すとて其の不心得を責めたるも悔悟の情見へざるに依り父兄に注意を與ふべく明日登校の際父兄を同伴すべき旨命したるに生徒等は何等過失なきに父兄を呼出し訓示するは不都合なり我等を懲罰に附する爲ならむと

誤信し盟休す。

一、四年生某二名が無届にて早引したるを校規を紊るものとして停學を命じたるに一般は校長の處置苛酷なりと稱し排斥の爲盟休す。

一、一講習生が小使室にて喫煙せるを發見叱責したる以來校長對生徒との折合宜しからず偶々四年生に對し石炭節約の爲多量を焚くへからずと戒告したるに「朝鮮人奴等は石炭を焚く必要なし」と云ひたりとて甚しく憤慨し無慈悲にして亂暴極まる教師より教を受くる必要なしとを排斥盟休す。

一、鮮人は亡國の民なり危険思想を抱持す或は權利のみを主張して義務心を閑却する等常に侮辱的言辭を弄する事あり爲に生徒の反感を購ひ居たるが偶々始業時間に遅刻せし生徒を嚴訓したるを動機として排斥盟休す。

一、某教師は一日二三時間教授するのみにて若し生徒の試問解答不良の場合には「腐つた民族」又は「野蠻人種なり」等と罵倒することありと稱して排斥盟休。

一、某教師は生徒を亡國人種と罵り又月謝三十錢なり一日に一錢宛教ふる等

の言辭を弄したる等に依り排斥盟休す。

一、日鮮人區別を暗示し鮮人を草莽野蠻視し生徒が疑問の點を聞けば自己の知るのは威張つて學生等の知らざるを叱責し傲慢なる態度にて對答する等の理由を以て排斥す。

一、授業開始に當り小使が振鈴を鳴らしたるに側にありたる一生徒が「左様なものを鳴らすな」と云ひしを附近にありし某教師は右生徒を詰問し脅威的に振り挙げし手が生徒の鼻柱に當り出血したるを見たる學友は同教師に反省を促すと稱して盟休す。

一、時間の都合に依り複式教授を爲す旨發表せるに不遜の態度ありたる生徒の面部を毆打し將來嚴重なる訓練を爲す旨言ひ渡したるに反感を抱き盟休す。

一、漢文の學期試験中一生徒は答案を提出せず退場したるを以て級長をして呼戻さんとしたるも應せず教師自ら彼を教員室に連れ來り注意を與へたるに自分は退校するものなれば注意を受くる要なしとて反抗的態度に出でた

るを以て教師は其不遜の行爲に憤慨し毆打したるに平素素行不良にして粗暴傲慢内地人教師に特に反感を有する彼は極力抵抗したるを以て會居せたる二教師は之を見兼ねて共に生徒を毆打したるに他の教師等は生徒に同情し「神聖なる神の學校にて人身を毆打するは不都合なり」と稱したるに力を得益々力強く抵抗したるも力及ばず退出したるが翌日より同級生全部盟休す。

二、算術教授中生徒の答案不良なるを指摘し寧ろ退學せよと叱責し剩へ三名の生徒を毆打したるを父兄及生徒に於て憤慨し居たるが偶々同校訓導内地視察中、旅行の平安を祈る意味にて飲食店に會飲したるに數名の生徒其の場に来り飲食店に會飲するは教育家として正しき行動なりやと質問したるを恩師に對する言動にあらずと駁し毆打して盟休。

一、手工教授中一生徒が手工器具にて机を損傷したるが平素の注意を守らずとて懇諭したるに反抗的言辭を弄したるを以て改悛する迄教員室に止め置き次の時間は他訓導代りて授業したるに右生徒は密に教室に入りて授業を

受けたるを知り毆打したるに一同憤慨盟休す。

一、某教師は六年生中に長髪者(辨髪にあらず)あるを見て生意氣なりとて裁縫用鋏にて二分刈りとならしめたるに平素同教師に不快を抱き居りし生徒等は排斥の爲盟休す。

一、教授不親切にして生徒の質問に穩當に解釋説明することなく反つて叱責し往々之を打擲することありて生徒より嫌忌せられ居たる折柄體操授業中不規律なりとて二三の者を打擲したるにより排斥盟休す。

一、體操時間中一生徒の動作不規律なりとて之を毆打したるを憤慨し盟休す
一、休憩時間中遊戯に熱中し始業時間に二分間遅刻したるを毆打したるに盟休す。

一、始業時間に至り飲水の爲教室に入場を遅れたりとて生徒十二名を毆打し
二名を退學處分に附すべしとて教室に入れざりし爲排斥盟休す。

一、女教員の新に配置されたるを評して女教員の着任は學校を惡化すと云ひたる由を傳へ聞き之を取調ぶるに當り生徒に苔を加へたり依て盟休す。

一、内地より初めて赴任し朝鮮の事情に通せず性短慮にして粗野朝鮮の風習を誹謗し兒童に對する愛情薄く校長の最負に依り採用されたる小使を殴打したる生徒を停學處分に附したる處自ら退學を申出其の許さるるを見て盟休す。

一、校長の子供と他の一生徒と喧嘩を爲したるに校長は自分の小供に何等懲戒せず相手の生徒を殴打し一時人事不省に陥らしめたりとて斯る校長の許には教育を受くるを欲せず校長を他に轉任せしめ其の子供を退學せしむるにあらざれば登校を爲さずと稱して盟休す。

一、校舎に隣接せる校長竝に内地人職員の宿舍附近に兒童を使用し砂利の撒布を爲さしめたるに對し兒童反感を抱き盟休す。

一、校長の長男疫癘にて死亡し教師等は生徒を使用掃除を爲さしめたるに端を發し青年會員は父兄と結び兒童を盟休せしむ。

一、某教師宅に於て一女生徒が同室せるを目撃し之を吹聴したるに醜行ありと誤信し排斥盟休す。

一、某教師は夏季休暇を利用して某地に旅行の歸途一旅館に投宿中同宿の一生徒が『偶々居合せたる同校女生徒と醜行ありたるを現認したり』と生徒間に吹聴せるにより其の生徒を毆打したり困りて排斥盟休。

一、某教師は獨身にして平素飲酒酩酊常に野鄙なる俗歌を口にする等教師の體面を汚すが如きこと多く生徒等は之を快しとせざりしが偶々自分の下宿屋の娘に仲人を以て結婚を申し込みたる事實あるを聞知し排斥盟休す。

一、生徒に對し汝の姉妹が居るなら自分に與へよ或は妻あらば貸與せよ女生徒が今少し大きければよきに小さきを遺憾とす汝等の女兄弟を皆出せよ最も美人を娶るべし等の言辭を弄し又生徒に煙草を與へ又は貰ふことあり等の事實を掲げ排斥盟休す。

x

x

x

民族意識に基く盟休は後説の通りであるが教員排斥の理由として表面に民族的反感の現はれたるものは甚だ尠い、試みに排斥されたる教員職員を内鮮人別に區分して百分比を算出するに中等學校以上にありては内地人教師は百

人の内八名鮮人教師は百人の内一八名が排斥されたことになり初等學校に於ては内地人教師が四名鮮人教師が二名排斥された割になつて居る。中等學校に鮮人教師の排斥が異常に多いのは元來同盟休校は私立學校に多く私立學校は鮮人教師多數在職するに依るものと解される、内地人教師排斥は内地人なるが故に是も非も無く排斥すると云ふことは從來は餘り見へなかつた。多くは前に掲げた事例に類似の事實ある爲の排斥であつた。然るに昭和二年後半期以降にあつては些細なる非行又は失態を針小棒大に誇張し或は殊更に曲解して排斥の理由とするに至つた。今民族意識に基き教職員を排斥した事例を示せば次の通りである。

×

×

×

一 醫學専門學校に於て某教授が學會に於て發表せる朝鮮人に對する解剖學上の研究發表が朝鮮人を侮辱するものなりと稱して排斥す。

一 某私立學校生徒は排日思想を抱持し時折之を言動に顯し居たり、然るに某々鮮人兩教師は思想穩健にして鮮人の不穩行動に同情せざるのみならず

常に之等生徒の思想善導に腐心しあるに反感を抱き排斥するに至る。
 一 某内地人方に飼育せる熊を見物せんと多數雪崩れ込みたる學生を咬傷したる同家飼犬を他生徒等追跡し警察官に制止されたるが前に鮮人の飼犬に同校生徒が咬傷されたる際は直に校長現場に臨み應急處置を加へ犬は撲殺せしめたるに今回は何等の處置に出でざるは内鮮人差別を爲すに依るものなりと稱して排斥す。

(三) 學校内部の出來事に基因する盟休

	大正		昭和		累計
	初等	中等以上	初等	中等以上	
學校對評議員ノ紛争ヲ解決スル爲メ					
學校職員及理事者ノ不誠實ニ憤慨シタルモノ					
職員間ノ不和ニ因ルモノ					
解雇職員ノ敬					
被ニ因ルモノ					
官公立					
私公立					
計					

(四) 生徒間の出来事に基因する盟休

原因	私立		官立		計	合計	計	私立	官立	計	轉任退職教員 ノ留任復職ヲ 要望スルモノ ノ	
	初等	中等	初等	中等								初等
通學生徒ノ部 落闘争												
生徒間ノ不和 ニ基クモノ												
運動競技ニ基 クモノ												
不良生徒ノ排 斥ヲ要求ス												
試験問題漏洩 ノ爲メ												
公立學校ニ轉 校セントセシテ阻 止セシニ因ルモノ												
計	初等	中等	初等	中等	計	初等	中等	初等	中等	計	初等	中等
大正十年												
大正十一年												
大正十二年												
大正十三年												
大正十四年												
昭和元年												
昭和二年												
昭和三年												
計												

同盟休校の原因、種別

計	官公立	
	私	公
合計	二二	二二

(六) 民族意識並左傾的思想の反影と認めらるる盟休

	十一年正		十二年正		十三年正		十四年正		昭和大正五年		昭和二和年		昭和三和年		果計		計	
	中等以上	初等	中等以上	初等	中等以上	初等	中等以上	初等	中等以上	初等	中等以上	初等	中等以上	初等	中等以上	初等		
廢要 内鮮人差別撤 要					一												二	四
内鮮人差別撤 要																		二
内鮮人差別撤 要																		二
内鮮人差別撤 要																		二
内鮮人差別撤 要																		二
内鮮人差別撤 要																		二
内鮮人差別撤 要																		二
内鮮人差別撤 要																		二
内鮮人差別撤 要																		二
内鮮人差別撤 要																		二
内鮮人差別撤 要																		二
内鮮人差別撤 要																		二
内鮮人差別撤 要																		二
内鮮人差別撤 要																		二

同盟休校の原因、種別

同盟休校の原因、種別

	私立	官立	私立	官立	私立	官立	私立	官立	私立	官立	私立	官立	私立	官立	私立	官立	私立	十六年正		十六年正		十六年正		十六年正		十四年正		昭和二年和		昭和三年和		果計						
																		以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等	以上	初等		以上	初等	以上	初等	以上	初等
朝鮮人共學反																																						
對鮮歷史同地																																						
朝鮮教授ヲ要求																																						
理教授ヲ要求																																						
シテ																																						
諺文新聞雜誌																																						
トヲ備付スルコ																																						
朝鮮語科ノ新																																						
増設重並時																																						
英語ノ教授ニ																																						
朝鮮語ヲ使用																																						
ノ要求																																						
獨立記念日ヲ																																						
記念スル爲																																						
大韓會館開館祝																																						
スル爲																																						
同窓會ノ自治																																						
ヲ要求																																						
學友會校友會																																						
ノ自治ヲ要求																																						
校友會費年度																																						
決算報告要求																																						

合 計	計	私立		公立		計
		私	立	公	立	
三	三					大正十一年
一	一					初等
四	三一					大正十一年
						初等
一	一					大正十二年
二	二					初等
一	一					大正十三年
二	二					初等
一	一					大正十四年
						初等
二	一一					大正十五年
一	一					初等
二	二					昭和三十二年
七	六二					初等
二	二					昭和三十二年
三	三四					初等
一	一					昭和三十二年
六	四〇					初等
九	一八					初等
七	七					計

朝鮮の盟休事件には全般を通して極めて臆ろげながら民族的反感乃至總督政治に對する反抗氣分の反影が隱顯して居る事件の尠くないことは前に述べた通りであるが最近これが極めて濃厚になり左傾的思想さへも含まるゝに至つた。此の傾向は大正十五年頃から始まり殊に同年六月に行はれた故李王殿下の國葬は鮮内治安の大局から見るときは些したる影響はなかつたが大正八年の騷擾が當年の國葬を機として起つたことより鮮内外の不良者等は再び此の機會を捉へて民族運動を起すべく盛に活躍し不穩宣傳文書竝に印刷物が現

れ不穩落書不穩流言等は數へるに違なき程であつた。殊に四月二十八日京城府協議員高山孝行一行を高位高官と認め兇行を加へた金虎門事件竝に駐在所派出所面事務所等を襲撃した拳銃事件其の他數種の不穩犯罪事件等に依り學生の思想も不穩動搖し國葬當日多數生徒の妄動を見るに至つた。地方に於ては無理に學校の休校を願ひ出つるもの續出し怠業氣分も手傳つて盟休の續出を見た。當時差押處分になつた不穩文書中高麗共產黨青年會員金丹治權五高等の作成した標語に

朝鮮人教育は朝鮮人本位に!!!

普通教育を義務教育に!

普通學校用語を朝鮮語に!

普通學校長を朝鮮人に!

中等以上學生の集會を自由に!

大學は朝鮮人を中心に!

と記したものがあつた。之れは特に注意を要すべきもので昭和二年以來の

盟休が此の各條項を洩れなく要求して居ることは見逃すことの出来ない事實である。又思想方面の運動は治安維持法の實施に依り結社の自由を制限せられたので地方に多くの青年會を組織し其の陰に匿れて主義運動を爲さんと謀り將來主義運動の闘士を養成する爲に或は少年團或はボーイスカウト等の設立に着目し少年少女の雄辯大會又は講演會等を利用して子女の口から主義宣傳を爲さしめんとする傾向を表はして來た。之等が直接間接の理由となつて同盟休校事件の頻發を見るに至つたことは覆ふべからざる事實である。

大正十五年の盟休中最も執拗であつた事件は公立全州高等普通學校の同盟休校で最初講堂及寄宿舎の建築柔劍道の教授校長並教員の排斥等を要求して盟休するに至つたのであるが父兄の介入に依り却つて生徒を悪化せしめ遂に電話看視校門見張自轉車置場看視校長室亂入等役割を定め校長を校外に放逐負傷せしめ相當社會の耳目を聳動せしめた。此の盟休は表面主義思想の現はれは見出されなかつたが學生の團結所謂學校鬭争は裕に社會運動たり得ることを證明することが出來た此の意味に於てこれが近來悪化した盟休の皮切り

であつたと謂ひ得る。

次は昭和二年五月に起つた私立淑明女子高等普通學校の同盟休校である。本校の盟休は兩内地人教師の排斥生徒の待遇改善裁縫教師に鮮人教師採用鮮人教師多數採用人格高き教師の優遇等を要求して盟休したのであつたが生徒父兄中に朝鮮日報發行擔當者安在鴻朝鮮少年團長全柏等が介入し調停を名にして父兄會を開き自ら其の代表となり「淑明女子高等普通學校は四百名の學生の物にて齋藤（當時の教務主任）一人の物にあらず」等の決議を爲し學校内の經濟にまで立入りて論難し生徒を支持して盟休を助長するが如き言辭を弄し盟休生と密に會見して之れを指導し或は新聞を利用して學校側の非を鳴らし又或は盟休事件の検討を名にして暗に盟休を煽り民族意識を挑發する等の行動に出た。之れが爲生徒等の結束頗る固く實に四箇月の永きに互つて遂に解決の模様なく止むなく教務主任の辭任を見るに至つた。

此の事件以來中等學校の盟休は頗る惡化の傾向を現し從來の單純なる教員排斥設備改善昇格要望を目的とする盟休と異り教員の排斥も内地人教員を目

標とするもの多く些細なる非行又は失態を故らに誇張曲解して盟休を理由附け其の運動方法の如きも左傾團體諺文新聞社等に宣言書等を送り其の後援を依頼せんとする傾向を表して來た

公立光州高等普通學校生徒は同年五月日鮮差別感情を置かざること外七項を要求して盟休を決行した

私立松都高等普通學校私立開城學堂私立倣新學校は共に同年六月盟休を起したが之等の學校は從來試験忌避の爲年中行事の如く盟休するので問題とする程でなかつた。殊に倣新學校に於ては英語を國語にて教授せよこの要求を出したので朝鮮日報は

今日の朝鮮人學生として既に使用して來た朝鮮語を日本語に代へて説明して呉れど要求するは如何なる精神から出たのであらふ若し其の條件が學生の眞實なる希望であるとすれば夫れは其の學校の教育精神に或は癡痺されたものと云はざるを得ないが斯ることは決して無い筈であり唯其の盟休に適當な條件が無かつたことを反證すると共に其の學生達の無意識的妄動を責めて斯

る沒精神の氣風が此の教育界に傳染されない様大に警戒するのである」と冷評を浴せた。

私立普成高等普通學校では校友會の生徒自治、校長外數名の教員排斥を理由とし同盟休校の舉に出た、盟休生等は各學年より代表者を選び盟休總本部を置き各學年に本部を置き六箇所の支部を設け連繫を取り鐵拳團を組織し通學阻止、歸郷阻止、觀劇阻止等の部署を定め結束を固めて居た。而して學校側の態度強硬なるを見て校長を門外に擔ぎ出し放逐の意味を如實に現はさば校長は痛憤に絶へず必ず辭職するに至るべしと爲し校長が盟休生に對し訓諭中咳拂ひと呼子を合圖に門外に拉し萬歳を高唱した。更らに驚くべきは市内を引き廻すべく人力車を準備して居たことである。本盟休事件に關し新幹會員某は會の代表なりと稱して學校に出頭校長の引退を勸説した。斯く惡化した盟休は暴行學生の檢舉も效を奏せず遂に校長の引責に依り四箇月を経て漸く解決した。

公立威興高等普通學校生徒は同年七月學校をして植民地政治の一機關たる

ことから解放し自由なる學問善導の場所たらしむること、内地人教師三名の排斥外五項を掲げ次の如き陳情書を提出して盟休した。

陳 情 書

教育者と云ふ金儲業を我が成興高等普通學校の教諭としたことは教育の目的に反したことである總督府學務局自身が日本の失業者の失業防止の手段として我が朝鮮の窮乏せる經濟より多大の金額を徴收して以て朝鮮人子弟の教育の名の下に建てたかの如くも思はれ又最も良き忠犬を作るを目的として所謂殖民教育を施すかの如くも見える何故ならば別項我等が排斥する四教諭は勿論の事教諭中一人残らず我等に學問をさせるとのことではなく教壇に立ちて日本の優越を語り朝鮮人の必然的滅亡を説き我等に奴隸根性を注入せんとする現代教育の特權階級の専有機關である事は勿論だが斯る事は殖民地に對する虛政を以て合理化し瞞着せんとするものであると思はれる

我等は斯る教育は教育とは思はない斯る教育は政治的壓迫と經濟的搾取を恣にする他の一方に於て精神的に壓迫することではないか吾等一方は知識慾に飢えたものである我等は父母に多大なる犠牲を拂はせて學海に出帆したが第一步なる我が高普に於て希望は絶望と變つた

我等が要求し又然らずではならざる教育其のものではなく謂はゞ非教育的であり我等の頭を鈍らす事を悟つた要するに學校は要塞地であり先生は憲兵であり密偵であるかの如く我等に恐怖心を起させるでも學問がしたいばかりの我等は畏れ／＼陥穽に入るかの如き心持で毎日登校をしなくてはならぬのである

願くは人類の教育者ベスタロツチに倣てくれ教育者は國境と民族を超越し人類愛に立脚し人類の將來を計り世界平和の爲めの教育者たるべきではないかそして教育者は俸給より責任を重んじて資格なきものは快よく教育界より退かねばならぬ我等が只今同盟休學を以て學校長に要求する具體的條件は左の如し

一 學校をして殖民地政治の一機關たる事から解放し自由なる學問善導の場所たらしめる事

- (1) 校友會の全權は全會員一同に返還する事
- (2) 教師は生徒の要求を本位として教授すべき事
- (3) 脚絆は全廢する事
- (4) 靴は黒なら何んでも良い事
- (5) 校長は絨の互選に依る事

二 中學程度の教育者たる資格なきものを本校より早速逐放する事

(1) 山根教諭

生徒の納得如何を問はず勝手横暴の目茶苦茶喋なり

(2) 宮崎教諭

果樹園を本業とし教授に誠意なし

(3) 岡本、小笠原兩教諭

教へることより生徒を侮辱するを以て亨樂とする

三 我等の要求の爲に決行した此度の同盟休學に對して一人の犠牲者をも出さない事

四 一、二、三要求條件を快く聞き入る事出来ない場合は校長は引責退職すべき事

五 以上の要求を聞き入れるなら生徒各自に通知する事以上我等の要求の完全に成功

するまでは斷じて登校せざる事を我等宣言す故に校長は此の點よく察して解決せられん事を茲に陳情す

x

x

x

これに對し學校では寛容なる態度に出で父兄等も學校の態度を諒し學校を援助して解決に盡力したる爲一名の犠牲者をも出さず僅か七日にして解決

されたることは頗る御手際であつたが然し此の不穩なる陳情は他に尠からず累を及した事は遺憾であつた。

公立東萊高等普通學校は警察に生徒を依頼せざることを、辯論練習を認可すること、生徒の待遇を改善すること、其他を掲げ七月十一日盟休を初め、參謀、暴力、通信辯論、監視の五部に分ち部の下に區を置き各部各區に部長區長を配置し結束に努め隨時機宜の會議打合を爲し監視部員は隨時隨所に出沒し學校當局父兄の動靜及生徒の行動を偵察して其の狀況は洩れなく參謀部に報告せしめ常時召集非常召集の制を定め區長をして傳達せしむる等の方法を講じて居たが父兄等は假令生徒の要求に多少の理由あるにしても師弟間の情誼を無視し生徒の自分を没却したる行爲は道義に背反するものなれば同情の餘地なしとて生徒の不法を叱責訓戒し未だ嘗つて見ざる態度に出でたる爲僅か五日にして解決を見るに至つた。

私立中央高等普通學校は九月二十七日苛酷なる規則の廢止と同窓會の生徒自治校長外數名の教員排斥を要求し又私立徽文高等普通學校は十月二十四日

関子爵の銅像建設反對と金校長が日本を内地日本語を内地語と云ひ朝鮮歴史を教授せず朝鮮人にして朝鮮と云ふことを念頭に置かざること等に不満を抱き學友會の生徒自治校長及數名の内地人教師排斥を表面の理由として盟休するに至つた。此の二件は普成校事件と共に昭和二年中に於ける最も執拗なる盟休で警戒通信探偵等の分擔を定め結束團結に努めた、中央校に於ては手を盡して登校を勧誘した結果過半数は登校を希望するに至り教授を始めたが強硬派百餘名は盟休に關し犠牲者を出したるに憤慨し其の理由を訊すと敦圀き窓硝子を破壊する等亂暴を敢行したので警察は三十餘名を検束した。然るに生徒等は三十名のみを検束するは不當なりと興憤し用意のピラを撒布する等形勢頗る穩ならざりしを以て遂ひに百三十四名を留置の上改悛の情顯著にして登校を誓ふ者より漸次釋放し主謀者六名を出版法違反に依り檢事に送致し約二箇月を経て漸く解決した。尙本校の盟休生等は數回數種の聲明書を作成して各方面に送つた其の重なるものを掲ぐれば次の通りである。

x

x

x

我等は學生である學生中にも中學生である我等の知識はそれだけ低劣であり見聞もそれだけ貧弱である而して我等の世情的訓練も亦それだけ不足である事は我等自らが卒直に告白する所である然れども誤解する勿れ其の理由を以て我等をして如何に道具視し如何に機械視し將又犬馬の如き動物視し封建的奴隸の如く虐待するとも我等は決してそれを甘受する譯にはならぬ我等が學校に入る時は少くとも高見博識の各位先生に人格的に我等の將來の指導を受くる爲めである決して學校當局の反動的專制的暴君的命令の下に唯々として服従し其の道具となり其の機械となり番犬となり奴隸にならむとしたものではない

我等の父兄が我等を學校に入れる時彼等の豫定の果して何になるや學校當局で我等を受け入れる時彼等の豫測は果して如何であるや我等は知らざるも我等自身の考はそうでなかつたのである

勿論世には我等の思ふ理想的學校は小學校より大學校に至る迄一も存在せざるのは現實上止むを得ざる事實である故に我等は空想に捉はれ現實に浮かれて無理の注文を要求するのではない然し反て其の機會を利用し自身自ら反動群の番犬となり奴隸になると同時に學生を強制し番犬の番犬奴隸の奴隸を作らむと腐心奴力する者があることせ

ば我等は決して容赦する事は出来ぬ

皆様！其の實例を知らむと欲するか？見よ！我中央學校の崔斗警校長を、否彼を普通適例と云ふよりも寧ろ徹底せる代表的標本と言ふを適當とする

× × ×

此の聲明に對し在東京新興科學研究會は次の如き同情檄文三十枚を在大阪朝鮮労働者組合其の他に送付した勿論朝鮮内にも送付したものと思はれる。

× × ×

中央高普盟体に對し

嚴正なる社會的批判を喚起す

最近朝鮮學生界に在りて其の中小學校を問はず盟体の氣分が全國的に勃興しつゝあることは古今東西の歴史を通じて其類例を見ることが出来ない特殊的現狀である其が果して何を説明するものであらうか？

殖民地差別教育に對する不平！！

學校當局の專制に對する反抗！！

學生要求條件無視に對する不満！！

學生人格蹂躪に對する抗爭!!

現在の急進的思想家未來社會の主人公である吾等青少年學生諸君吾々は諸君の社會的條件の必然を究明して諸君の組織的奮闘の義勇を觀察し諸君の爲否朝鮮の未來の爲其生動發展する「生」を祝賀せなければならぬ

吾等は諸君の義舉に對し學生風紀を云々する反動的小ブルジョアの口吻を敢て學ぶことは出来ない何故なれば此の様な口吻は支配階級の道德的標語としての欺瞞政策に過ぎないからである

然るに近日傳ふる所に依れば京城に在る中央高等普通學校生徒の盟休が一大衝動を與へたと云ふのであるが其の理由は何であろうか？

元來此の盟休が該校第三學年生の教師白鳳濟排斥決議(去月二十八日)を動機として爆發されたのであるが其裏面には該校長崔斗善氏の生徒に對する絶對專制が第一因であるが故に該校三學年生の盟休があつて間もなく二學年生も此に加擔して一學年生も之に同情し第一、四學年生二百四十名は今三日午後九時頃二、三學年生の要求に共鳴するとの條件を決定して學校當局に提出した後に盟休を斷行したのであつた

屢々登校勸誘の有つたにも拘はらず彼等一同は内外に飛檄して斷然たる態度を聲明

し校長の支配階級的絶對專制の罪狀を痛烈に指摘した

吾等は朝鮮に在る幾多の報導機關が崔校長及該校當局に對する擁護及體面の關係に拘泥して其罪狀を或る程度迄隠蔽しておることを公然と指摘しなければならぬのであつて幾百青年學主の鬭争問題否全朝鮮學生界の一大問題を焉ぞ有耶無耶の幽谷中に封鎖して止むべきやである

吾等は吾々社會が十指を以て其罪を數へておる崔校長の校國に於ける絶對的專制政治を更に一度指摘して見よう

中央高普校長崔斗善氏は

一 各學年班長に手帳を與へて青、赤色を以て學生の社會主義者及民族主義者を色別せしめたこと（刑事手帳式）

二 學生討論に際し監督をして注意—中止—を常になさしめたること（警察署長式）

三 該校同窓會の分立を拒否して積極的に干涉支配したこと（官僚主義的中央集權式）

其の他各教師に對する無禮、獨斷、越權等の行動

吾等は該校長の如何なる人となりであることは以上の罪狀を以て能く判斷することが出来る

崔氏は鮮人否朝鮮の所謂有名の教育家ではないか？然らば朝鮮青少年に對する理解は全然沒常識の程度より脱し得ないものではあるまいか？

吾等朝鮮民族の殖民地警察官僚政治に對する憎惡の感情は、地を割して獄となすも議不_レ入_レと云ふ古語を以てしても尙且つ形容することが出来ないものである

況んや感情の鋭敏、性格の快活を所有する青少年學生達の其に對する特殊の反抗が如何に強烈で偉大なるものであろうか？

現世界に於て反軍國主義運動、反軍事教育運動の主人公は彼でなくて何人であらうか？

如上の青少年學生の特徴を最も宜く理解して此により教育の方法を調定することが教育界殊に朝鮮教育家の唯一の任務であらねばならぬ

然るに崔氏及該校當局の「刑事手帳式」「警察署長式」「官僚主義的中央集權式」以上三つの式を朝鮮の教育家は企て拓いて常識ある朝鮮人として焉そ行ひ得る所であらうか？無智！妄動！横暴！

吾等は中央高等普通學生盟休を期とし崔校長の校園に於ける絶對的専制政治に對し其の正體を徹底的に曝露せしめて社會的制裁を嚴肅に表明せなければならぬのであ

ると同時に吾等は進んで全朝鮮學生界の教育に對する凡ての不平、凡ての反抗を昂揚擴大せしめて全民族的根本問題に迄引上げなければならぬ

専制校長を該校より驅逐せよ！

教育の學生本位を主張せよ！

學生自治權を樹立せよ！

一九二七年十月十日

在東京 新興科學研究會

× × ×

徽文高普校では同校三年生が十月二十四日前述の理由に依り校長排斥學友會の自治外數項を要求して盟休した。然るに五年生が理由なき校長排斥に反對し四年甲組も亦教室にて反對の協議を爲し居る所へ一、二、三年の盟休生七八十名が亂入し大格闘を演じ又軟派學生十數名を市内各所に於て歐打したので十八名を檢舉した、彼等は更らに之れにも懲りず盟休反對生の授業中に押し寄せ暴行を加へんとしたが教師の制止により漸く事無きを得た。警察で

は再び煽動者八名を檢舉し學校側及卒業生等が手を盡して登校を勧誘した結果漸次登校生増加し約四十日を費して漸く解決するに至つた。

公立第一高等普通學校に於ては他校が盟休するに我が校がこれを爲さざるは甚だ意氣地なき事なりと爲し現在の教育方法は朝鮮魂を養成するにあらずして日本奴の壓迫下に日本臣民となるべき教育を受けて居るのであるから後進者の爲め飽迄これを決行し團結抗爭の一習練とするのであると稱して朝鮮歴史を鮮人教師をして教授せしめること、朝鮮語殊に文法を教へること、學生本位の學友會を創立すること、教員排斥其の他數項を掲げて十一月十一日盟休したが學校當局及警察の適當なる處置に依り前記各校程の紛糾は見なかつたけれども尙約二箇月を費して解決した。

以上の惡化した同盟休校殊に京城に於ける夫れは其の要求結束運動方法等頗る類似の點があり他に煽動指導する者なきやの疑があつて極力捜査したが發見に至らなかつた。

斯くの如く同盟休校が現教育制度に對する反抗を目標として起る様になつ

た原因は前に述べた高麗共産黨の不穩文書其の他種々あるが昭和二年二月「朝鮮普通教育の缺陷と題し東亞日報に掲載せられた慶南密陽金振國の論説及普通學校教員は全部朝鮮人を採用せよ」と題する社説等も與つて力あつたことは謂ふまでもない。

朝鮮普通教育の缺陷

緒言

現下の我が教育界には色々の種別待遇がある。外の事は總て後の機會に譲つて最も卑近であり且つ重要なりと思はるゝ普通學校教育に對して少しく論じて見ようと思ふ。現下の我々は民族的にも社會的にも餘り不完全なことが多いけれども我々の特に叫ばんと欲するのは實に此の教育問題なのである。或者は一部分の問題なりと評するかも知れないか此教育問題は實に我々の前途を左右するものであり、又總ての問題の鍵となるべきものである。斯く重大なる朝鮮人の教育そのものが今日果して如何なる立場に置かれて居るであらうか。

x

x

x

我々の現下の教育は教育史、教育學等何物に於ても見ることも出来ない朝鮮特有の教育を受けつゝあるのである。教育と云ふものが教育の本意を離れて或る政治策略に利用され其の前途暗澹たるものありとすればこれは眞實なる教育とは言ひ得ないのである。筆者は茲に冷靜なる態度を以て普通教育の缺陷と矛盾を指摘し幾多の實例を擧げて證明し以て當局者の反省を促すと共に我々として當然なる要求の主張すべきことであることを指摘しておくのである。

普通教育の缺陷と其の矛盾

第一は學年制度である。即ち日本人小學校には義務教育と云ふ意味に於て學校と云ふ名稱さへあれば生徒は十名だらうが五名だらうが人數の多寡によらず六年制であるのみならず高等科まで置くことになつてをるがそれにも拘らず近來は八年延長問題が頗る有勢であつて近く實現の見込が確實であるそうである。

×

×

×

これに比べて我が普通學校は數も少ないのみならず十に七八は皆四年制である。これは概ね交通不便の地方であるか四年で業を卒へた後は父兄の財力と兒童の學力ある場合漸く六年制の普通學校に入學させるのであるが一般から見ると一郡に一つか二つか

三つしかない六年制學校で一級六七十乃至八十名しか收容の出来ない現状に於て七八校乃至十餘校から出る四年制卒業生中の志願者を悉く收容することは出来ない相談である。

× × ×

然るが故に四年を終へれば當然五年に入學し得る資格を有するものに對し試験とか運動とか云ふ不詳事が演出されるのである、しかし一々收容されないのは不可抗力である。昨年四月某校の實例を見れば、八十餘名の内で苦心慘憺して收容したのが僅か十二名に過ぎなかつたと云ふ事實もある。

× × ×

六年制の卒業者は亦どうであらうか。全部ではないだらうが某郡の例を見れば毎年百七八十乃至二百名近き數を出してをるがこれも前者の如く父兄の財力と兒童の學術の兼備により上級學校に入學の出来る好運者は一割に過ぎず其の残り都合に依り日本人の小學校高等科に入らうとしても小學校では之を拒絶するか或は收容することもあるが其の場合三十圓乃至百圓の特別寄附金を受けてから入學せしめるのであるがこれも亦志願者の數通りに收容すること不可能である。

普通學校卒業後他校入學問題に就いて當局者は普通學校は上級學校への入學準備校でないといふだらうがそれは勿論のことである

普通學校は別個の使命と目的とがあつて上級學校への準備校でないことは小學校と同一である、しかるに日本人兒童が小學校だけ卒業してそれで家に止まる者が果して幾人であらうか。人類の慾望は同じである、日本人だけ小學校を卒へてから上級學校に往き、朝鮮人は往つてはいけないといふ理窟はない筈である。彼等が事情さへ許せば上級學校へ往かうとするのは當然のことである

譬へ朝鮮人がより以上に學ばんとしないでも、現今普通學校の四年か六年それで充分であるからより以上學ぶ必要がない、これで使命を全うしたとすれば之は生を求むる人生に對して餘りに良心なく誠意なき話である。見よ、四年を終へて五年に入學出來ない者又は六年を卒へて上級學校か或は小學校高等科に入學出來ない者は果してどれ位あるであらう。

以上の例を以て見れば一郡には少くとも三百近くある筈である。之に由り全朝鮮を推測して見れば八萬近くなるであらう。多端なる我々の將來に重大なる使命を持つて居る彼等少年は何に着目し何を爲しつゝあるであらうか。これが仲々の大問題である、その中には厭々ながらも止むを得ず商店の店員か官公署其他銀行會社の給仕或は小使の役に就くやうになるものもありその外の大部分は皆父兄の職業に従ひ農業に就くやうになるのである。

東洋の古語にも農は天下の大本なりと言つたゞけに現在でも貴重なるは無論の事である。しかし現今我々の社會から見て殊に經濟組織から見て又刻一刻に破滅しつゝある農村の現状から見て或は時代の思潮から見て彼等は農業そのものに満足し切れずに居るのである。一見して不合理なるかに見へるが環境の事情がさうである以上どうすることも出来ずに居るのである。

又朝鮮に於ける農業の重要なるを叫びつゝやれ振興策だやれ何だと聲を大にして説

き廻る人々もそれは單に口と筆だけの農業であつて實際自己の體驗からして何をどう
いう具合に振興させ改良させ様と云ふ人は未だ不幸にして見受けることが出来ないの
である、朝鮮の所謂先覺者とか指導者とか自負して居る人達が斯かる有様であるから
結局農業は職業の業となるべきが故に（原文に若干の脱字あるものゝ如し）彼等が忌は
しく思ふのも無理ではないのである、是が家庭の過失であらうか、教育の普及せぬ爲
からであらうか知らないが彼等は父兄の吻付でも擔軍を背負つて山に登り、ホミ（草
取鉞）を手にして田畑に出ることを好まないのである。彼等は單に好まないのみなら
ず厭がり命令でも服従しないのが普通の事になつてをる。

x

x

x

然らば彼等は何を爲さんとし又は何を爲すを好むであらうか。彼等は奇麗な價の高
い帽子を冠らんとして居るのである。而して遊食者となり、放蕩者となつてしまふの
である。又甚だしき者は父兄との間に衝突を起し反目するに至るのである。家庭に居
る母校卒業生に對し「お前は學校卒業後何をして居るのか」と聞くと彼等は暫く躊躇つ
た後「遊でん居ります」と聲を落して答へるのが普通のことである。彼等の下げた頭が
現代の所謂ハイカラであるのは言はずもがなである。

又その父兄に逢つて近頃あなたの息子さんは何を爲して居ますかと問へば生唾を呑みながら「實に困つたことです少しも畑仕事の手傳はせず、私共の云ふことは一切聞きません。そして百姓以外の事をやりたがるのでどうしたらよいでせう。實に困つた事です」と答へるのである。子弟は暫くためらつた後「遊んで居ります」と答へ父兄は溜息の後「困つた事です」と答へるのである。

彼等の家庭には父兄が居つても大部分無學文盲の人が多いのである。所謂普通學校を卒へたその子弟達は困つたことながらもその無學な父兄の指導や命令には従はないのである。勿論天性からではない。裏面には複雑な内容があるからであらうが結局は看板教育の弊害に歸する外はないのである。追々年を取るに従ひ反抗する様になつて來るのである。そして舊道德觀念から見たる不孝不悌の子弟となるのである。

そして竟には無職遊食、放蕩浮浪して遼大なる將來を誤るのである。それがどうして痛嘆せず居られやうか。こうなるからして郷村の頑固なる父老達は子弟を學校に

やれば、こんな苦痛を買ふことになるからとて最初から入れまいとするのである。己未（大正八年）以來都鄙を通じて勃興した向學熱が漸次冷却しつゝあるのは經濟破滅に起因するものが多いが裏面に斯かる原因の潛在することも考へて見なければならぬのである

天真爛漫なる彼等をして社會に在りては不良少年たらしめ家庭に在りては、不肖子たらしむ其の罪は父兄にあるだらうか。子弟自身にあるだらうか。社會の然らしむる處によるのであらうか。將又思潮にあるだらうか。皆多少の責任もあり、原因となるのであるが、その内何よりも重い責任を有して居るものは教育そのものである。

制度不完全で方針の誤れる教育意義を没却して政策に利用させる教育、四年か六年間に日本化と日本語注入のみに汲々として居る教育等の御蔭であると言ふべきである近頃日本に於ける人口増加、食糧缺乏の解決策として朝鮮經濟救済と云ふ美名の下に産米増殖計畫だの産業第一主義だのと看板を立て、實業教育なるものを耳の聳する程騒ぎ廻つて居るのである。幾ら當局者が力を入れても根本方針と制度を新しくしない

限り目的を達することは不可能である。

× × ×

田舎は田舎になる程四年を六年に、六年を高等科にして純然たる教育的意義に於て理解ある教育を施さねばならぬのである。これに對し當局は經費問題を口實として斥けるであらう。余はこの經費問題は後段結論に於て論じやうと思ふ。

児童生活と教材矛盾

教科書教材は内容は論を待たず感情や政治を離れた教育的意義のそれではなければならぬのである。若し之に反して寸毫でも教育看板の下に民族的感情や政治的野心の爲の教材を用ゐた點があるならば議論の餘地もない、罪惡たると共に黙過することの出来ないことである。

餘は實例を擧げて其の曲直を明にしたいと思ふ。

× × ×

普通學校教科書に對し詳細に論述せんとすれば、一學年から六學年まで各科各巻各課に分ち編纂趣旨から教材の目的、児童教育、教授、及其の結果にまで及ぼさせねばならぬ。しかしそれは餘りに教育的説明に偏する嫌あるのみならず、時間と紙面が許

さないので今回は重要科目たる修身、朝鮮語歴史、日本語等に對して其の大略を論ずるに止めて置く。

修身

修身の目的は兒童に徳性を涵養し以て實踐的指導を爲すに在ることは誰でも同感だらう。然し現今普通學校で使用して居る教科書の内容と其の配列が果してどれだけ朝鮮兒童の徳性を涵養することが出来るであらうか。而して實踐的指導者たる日本人と根本的に民族性の異なるのは勿論、風俗慣習や言語や道德その他生活環境の明に異つて居る朝鮮人兒童に純日本のそのまゝを持つて來て教へてる教師の苦心と兒童の苦痛は非常なるものである。その反面に於てその效果の反比例するは勿論時間上又は精神上に反つて害を及ぼしそうなものを大略掲げて見やう

○第一學年 △ミヤ、シンセツ ○第二學年 △十三、恩ヲ忘レルナ

○第三學年 △一、孝行 △二、學問 △三、仕事ヲハゲメ △四、整頓△五、寛大

△六、健康 △九、堪忍 △十、物事ニアハテルナ

△十一、恩ヲ忘レルナ △十四、儉約 △十九、共同 △二〇、近所ノ人

△二十一、公益 △二二、生キ物ヲ愛セヨ

○第四學年 △五、健康 △十一、良イ慣習ヲ作レ △一四、人ノ名譽ヲ重ンゼヨ

○第五學年 △一我ガ國 △二、我ガ國 △四、公益 △八、主婦ノ務メ

△九、兄弟 △十八、謙遜 △十九、友情 △二二、德行

△二三、良イ國民

○第六學年 △一、國運ノ發展 △二、國交 △三、憲法 △一四、良心

△一六、工夫 △一九、師弟

等である。此の内に多少でも朝鮮的教材が含まれて居ると假定してもそれは極く粗薄であつて徳性涵養に資する程のものではなく大部分は日本的教材なのである。これを以てどうしても朝鮮兒童の徳性を涵養し道徳實踐の指導となるだらうか。要するに朝鮮人又は朝鮮人の將來と言ふことは少しも念頭に置かずして日本人化方策のみに努めてをることを知るに足るのである。これがどうして無理でなからうか。然るが故に此を學んでをる朝鮮人兒童の頭腦は如何、たゞほんの時間潰しとなつてをるのみである修身の目的を達するには何よりも先づ教科書の教材選擇が第一である。

×

×

×

其の民族性に立脚して風俗、習慣と實生活を基礎とするものでなければ駄目である。

當局者は朝鮮に適當な教材がないと云つてをる、しかしこれは議論にならぬ説である。修身科を日本材料で固めずに少なくとも四學年頃までは純朝鮮的教材のみを用ゐねばならぬのである。編纂を擔當せる人々や教授の責任を有つてをる人々はどうか考へてをるのであらうか。

× × ×

日 本 語

日本語は正確に他人の言語を諒解し自由に思想を發表して日常生活に必須なる智識を授け併せて徳性涵養に資せしむるを以て目的とするのである——とのことである。夫れには余も同意であるが併し朝鮮人として殊に何等の理解ももたず兒童等に何の必要があるであらうか。

○卷一 一〇、遠足^{ピシツ} 二二、ナツノクサバナ 三八、アソビ

四六、月^{ツキ}トムシ 五二、トラ

○卷二 二、ドウブツエン 五、キツ、キ 六、ネコ

一〇、子リス 三〇、三ツノタカラ

○卷三	三、五一ダイサン	二三、三人ノ子供	
○卷四	二、約束	一三、扇ノ的	一四、雪舟
	二五、私ノテマリ		
○卷五	八、春子サン	一〇、病氣	一一、ヘンナオ客遊ビ
	一四、田植	二〇、黒コガネ	二五、奈良
○卷六	三、日本	一〇、弓流	一三、京都
	十五、元日	一七、八代村ノ鶴	二一、七里和尙
○卷七	二五、東京ノ震災	二六、安代川ノ義夫	
○卷八	四、東京ノ兄カラ	一三、助ケ舟	十六、乃木將軍
	二五、菅原道眞		

以上は四年までの大綱であつて五學年以上は普通學校用日本語教科書が全然なく、
 小學校のそれを教へてをるのである。近頃總督府當局者が五、六學年用に日本語教科
 書を編纂せんが爲めに朝鮮と臺灣との編輯官會議を開いたと言ふことを聞いた。しか
 しそれが實現されるには少くとも數年間掛るであらうから朝鮮に普通學校が六年間に

なつてから既に十年近くなる今日まで教科書なしで教へて來たのは當局者の無誠意もこれ以上甚たしきはなからうと思はれると共に、其の心事を疑はざるを得ない次第である。

x x x

一年から四年までにも斯の如き教材では兒童が充分に理解をすることの困難なるは勿論のこと、教師自身でも朝鮮人では充分に内容を理解することは容易ならぬことと考へられるのである。元來日本人にあらざるものが幾許の接觸を以てしてもその生活慣習を完全に解得すると云ふことは無理な上にも無理なことであるのである。

x x x

故に日本語科にも四年までは朝鮮的即ち朝鮮人本位の教材を取らねばならぬと云ふことに成るのである。そうすればどれ位教授に便利であり、理解に容易であるかは解らないのである。編纂趣旨書には日本を紹介し日本風俗を理解せしめんが爲めであつて、それに依つて日本化し所謂日鮮融和に備へると云ふのであるが此に對しては別に語る必要もないが、それを實現するには別に手段や方法は幾らでもある筈なのに、どうして初等教育から、それを實施して天真爛漫な幼年者の頭を錯亂せしむるのであら

うか？又其の必要と理由は何處にあるだらうか。此れが爲に反つて反對の結果を齎すことになりはすまいか。故に教育の意義を没却したと云ふのであり、徒勞に歸してしまふだらうと斷言して置くのである

歴 史

歴史は國體の大要を知らしめ、且つ國民の志操を養ふを以て目的とするのである。斯く言つても現今普通學校で使用する教科書は餘りに遺憾千萬である。勿論筆者は政治や民族問題に對する評論をするのではない。そのまゝ國體の大要と國民志操と云ふことに對して論ずるのである。

x

x

x

此の問題には語らざるべからざる材料が非常に多く且つ問題も大きいが言論の壓迫を受ける我々の立場としては云はんと欲することを悉く云ふだけの自由もないが敢て黙してをる必要もないから事實のまゝを論ぜんとするのでやる。普通學校の歴史教科書は上下、二卷に分ち五學年から課するのであるが此の上下兩冊は五十三課となつてをるのである。

其の中に朝鮮兒童の教育機關たる普通學校歴史に朝鮮的教材をどれ位取り入れ又幾課に編成配置されてをるであらうか、勿驚それは一課さへもないのである。唯其の看板として日本教材課の中に少しづつ交ぜ入れてあるだけである。朝鮮の族譜に適子と庶子を差別する如く昔、兩班と常民を區別した如く先祖の歴史まで甚だしく差別したのである。そんなに區別したものすらも二年間に全部が僅か八件しかないのである。それも大部分公正をはなれた我田引水的に自分達を擁護して他民族を蹂躪したものである。その中にも實に憤慨に堪へないことは我々朝鮮の歴史として教へられる歴史なるものは我が朝鮮の文獻や傳説にも全然なく、又我々が夢にも見た事のない全然虚妄の史實が竝べられてをることである。歴史は少なくとも遺蹟記録要素がなければならぬではないか。口があつても敢て言ふことの出来ない我々の立場であるから恰も啞が胸を病んだやうな有様である歴史の大略を列記すれば左の如くである。

×
×
×
卷　　の　　上

△第三課「日本武尊」と云ふ題の末に朴赫居世を附説してあるが其の重要事項は日

本十代崇神天皇の時代に任那から日本に救援を請ふたと云ふのを赫居世王が日本から渡つて來た瓠公を任用して國政をよく治めたと云ふことである。

△第四課「神功皇后」と云ふ題の末に十四代仲哀天皇の時代に神功皇后が熊襲を征伐する時に熊襲の背後に朝鮮があるから先づ朝鮮を征伐しなければならぬと新羅と戦ふ計策を立て水軍をして對馬を経て新羅の地域たる東海岸に至つた處これ聞いた新羅王は大いに恐れて「東方に日本と云ふ神國あり天皇あるを聞けり、今來るは是れ必ず日本の神兵ならむ」とて直に白旗を以て降服し「假令日が西から出て溟れ上に溯ることあるとも毎年の朝貢は決して怠らざるべし」と誓約したと書き其の後に百濟高麗も日本に附屬したと書いてある。

x

x

x

斯かる虛妄の記録は朝鮮では、どんなにしても求め見ることの出來ぬ史料であり、朝鮮には寧ろ之と正反對の記録さへあるのである。又日本文獻にも世人の認むるに足る記録や遺蹟はないのである。これは憤慨せずには居られぬことである。當局者よ！何と答辯するつもりであるか。本問題は以前にも當面の教育者間に物議の多かつたことである。我々が朝鮮とか日本とか云ふ互の利害關係を離れて第三者の態度を以て見

ても有史以來日本は朝鮮から、文物、禮儀、道德、宗教、風俗、言語等直接間接に莫大なる恩恵を蒙つて來たではないか。

x

x

x

日本が今日誇りとしてをるものゝ總ては全くこれからの産物と云ひ得らるゝのである、これこそ世人の共に認むるに足る堂々たる歴史的事實と、科學的證據が幾らでもあるのである。専門家にあらざる我等でも幾多の證據を擧げ得らるゝのである。事實斯の如きに不拘事實相反するものを登載してをる心事はどう考へても分らないことである。斯かる文句は斷然削除せねばならぬものである。我々は力の及ぶ限り之を主唱し且抗議すべきである。

△第八課「天智天皇と藤原鎌足」と言ふ題に對して新羅白濟が日本に救援を請ふたと云ふのを前提として新羅統一を少しく書き加へ

△第十三課「菅原道眞」と言ふ題に王建の高麗建國のことを少し加へられ

△第十六課「源義家」に附けて高麗文宗熙が大覺國師だつたことを書き加へられ

△第二十七課「足利備上」に附加して朝鮮太祖と題して李太祖の建國經路を少し書いてあるのみである。

卷 の 下

△第三十三課「織田信長」と云ふ題の末に退溪、栗谷、兩先生の若干の事蹟と色論、(老論、少論、南人、北人の四色)の起因に對し少々掲載されてをり、

△第三十五課に豊臣秀吉の壬辰の亂を記し

△第四十四課「松平定信」と云ふ題に附けて英祖正宗と云ふ題を以て仁祖太王の丙子の胡亂と英正兩大王の治蹟及基督教に對することを記し

△第五十一課 大院君の鎖國主義と江華島條約を記して壬午軍亂(明治十五年の京城の亂)の時日本公使館に火を放つたのは單に朝鮮國政の疲弊したるに由りしものなりと記したのみでその理由の根本は記載して居ない。昔の出來事なら虚言も吐き易いが近年の出來事で二千萬朝鮮人の耳目にあり／＼と残つてをる事なるを如何せん。「韓國合併」と云ふ題の下に「ポーツマス條約の後日本は韓國京城に統監府を置き韓國内政を保護改良したるに何等效を奏せず、元來多年の弊政なるが故に施すべき術なく竟に合併した」と書いてあるが、これも果して事實ありのまゝなのであらうか？吾人は言を多く費したくないのである。

×

×

×

以上は修身、歴史、日本語に對する教材の内容と配列の大略を述べ筆者の意見を處々に加へたのである。全般を通じて見ると日本の教材が餘りに多くして疎忽淺薄で價値なく淺理解、淺交渉で朝鮮兒童の實生活に禍ひすること多かるべきを論じたのであるが、普通學校で教授の任に當たる教師の徒勞とこれを學ぶ生徒の苦痛が如何ばかりであり、その效果の如何は教師自身が體驗しつゝあることであり、父兄達も憂慮してをることである

普通學校に劣等兒童の多いのは其の原因は何であらうか。意識ある教育を施して人生らしき人生たらしめんとするには第一要素が教材である。朝鮮の兒童であるから須らく朝鮮的教材を取るべく内容充實して且價値あるものにせねばならぬのである。茲には朝鮮的教材の採用するに足るべき材料がないと云ふのが當局者の口實である。これ何と無誠意な態度であらうか。我々は少くも五千年の歲月と二千萬の民族が生きて來た東洋文化から見ても遜色がなかつた。今日世界に誇るべき偉蹟や今日の文明を以てしても尙及ばぬ遺蹟や記録事實を多く有つてをるのである。

x

x

x

茲に五千年間二千萬の内から現出したる、文化、道德、人物、風俗、習慣等に對して普通學校教材たるべき材料がどうしてないと云へるであらうか。十數年間の總督政治と五千年の二千萬民衆を相殺して了ふとするのは餘りにも可笑しいことある。教育界のみならず如何なる方面にても此の五千年の歴史を有つてゐること、二千萬の民衆であると云ふことを一刻でも忘れてはならないのである。それであるから朝鮮人本位の教育を施さねばならぬと云ふのである。

x

x

x

朝鮮語

其の人の言語は其の人の生命である。これは權力を以ても奪ふこと出来ない、同化せしむることの出来ない絶對的のものである故にその民族の生命あるとき迄は言語も同じく存して居るのである。

若し言語のなくなる時には生命も共に消へ失せてしまふのである。

我々が英語に堪能であり日本語によく通じて居るとしても、それだけでは満足することとは出来ないのである。英國人が日本人たるには或は適するかも知れないが朝鮮人た

るには外國語のみでは自我生活に完全を期することは出来ないのである。故に朝鮮民族が存在する限りに於て最後の一刻までも朝鮮語は寸時もなくてはならないものであり須臾も等閑視すべきものではないのである。或者は朝鮮語は將來無くなるものであるから朝鮮人は朝鮮語を習ふ必要はない等、暴言を吐き自分の父祖の歴史を念頭にも置かないで罪のない幼い子弟を六七歳の時から日本人の小學校に入學させて兒童に此の上なき苦痛を與へながらも得意滿面の狂者も居る者が斯る者は度外に置き朝鮮人普通學校の生命たる朝鮮語は果して如何なる待遇にあるかを論じて見よう。

×

×

×

第一教科書の冊數から見ても日本語は一學年間に二冊づゝであるが朝鮮語は冊數は一冊で而も頁數も少ないのである。次に時間割はどうであらうか、一週間に日本語は一學年が十時間、二、三學年が十二時間、五、六學年が九時間であるのに朝鮮語は幾時間割り當てられて居るだらうか。合理的に考ふれば少なくとも日本語の二倍位はあらねばならぬ筈であるが實は一、二學年に四時間、三、四、五、六學年に三時間宛しか當てられてゐないのである。

×

×

×

要するに日本語を主とし朝鮮語を従としてをるのである。これに政治的國家的意味がある譯でもなからうに朝鮮人が生きてをる國でその使ふ言葉即ち主語たるべき所の朝鮮語を外國語に取扱つて居るのは甚だ疑はざるを得ないのである。率直に言へば朝鮮語は將來滅亡するであらう一使はせない積りから出る手段と見る外はないのである。前述の如く言語は生命なれば二千萬の朝鮮人が一朝にして亡くなるか然らざれば一夕に全部日本人となつてしまつたならばいざ知らず若し然らざれば一人でも存在するその最後の一刻まで此の國有の言語は存在すべきではなからうか。

x

x

x

古より今に至る迄に東西の強族が弱族を侵食して壓迫した例は多いが總てのものを皆壓迫し強奪し盡す事はあつても固有の言語は奪つたり又は無くなす事は出来ない筈である。弱者にありても假へ強者の壓迫に堪へかねて生命を與へた事があつても固有の言語を與へるか又は同化されてしまう様な例はなかつたのである。全然そういふ例はなかつたのである。以前にも無かつたが今後にも絶對なかるべきことを信ずるのである。

x

x

x

教科はどうであるか無味乾燥疎忽淺薄で別段の價值なく充實味を缺いたものである。教師や生徒が愛着心を持つことも出來ず系統を見出すことも出來ぬのである。又何等充實せる参考書もないのである。も一つ語りたいたいと思ふのは師範學校の外には上級學校入學試験に朝鮮語のないことである。

今日の普通學校は日本語全盛、日本語萬能である。日本語を以て朝鮮語を壓迫するのである。質問にも日本語にあらざれば、聽取せず朝鮮人先生にも日本語でなければ應對することが出來ないのである。甚だしきに至つては朝鮮語一回に「罰金一錢也」の取締法を設けてをる奇怪な事實も數多くあるのである。朝鮮語科は教科書數も少なく時間も少ない。教材は無味乾燥である。充實した参考書もない。入學試験も行はないのである。こういう風でどうして好成绩を求め得るであらうか。

× × ×

學科の内で朝鮮語科は一番劣等な成績を示してをる現状も無理からぬことである。

今日の普通學校入學生の状態は都會地を除くの外大部分は皆諺文も知らないので入學するのである。一學年に入學すれば初めから日本語や算術などに逐はれて朝鮮語の方

は到底力が及ばないのみならず學校や家庭に於てもこの朝鮮語を等閑視してをる傾向が尠くないのである。

現今の實際問題として朝鮮兒童の朝鮮語は學科の内最劣等の成績を示してをるのである。吾人は之を見る毎に自ら滂沱たる落涙を禁じ得ないのである。

x

x

x

又一つは朝鮮語と漢文を混合したことである。我々は全民族的に漢文中毒の害を蒙つて來たのである。漢學は我が朝鮮文化の上から見て其の功勞も少なくないがその弊害も多いのである。永い間學び且つ用ひて來た爲めに外國文たる漢文は或程度まで朝鮮文化したのが少くなかつた。

而して文化と生活とを區別し難き程密接なる關係を有つてをるのもあり或る場合には漢文が朝鮮文で朝鮮文が漢文たる時もあつたのである。故に我々は漢文を全廢しようか又は時間の餘裕があつたら學ぼうか？。近頃各言論機關は率先して我々の文即純朝鮮文の更生を計らんとし雜誌東光の如きは漢文全廢論を主張してをるのである。此の朝鮮文が一日でも速かに實現し従つて文旨の少からむことを豫め喜んでをる次第である。

普通學校では極めて少ない時間に朝鮮語と漢字を一緒に教へるので俗に謂ふ所の眼を開ける暇もないと云ふ状態となつてをるのである。故に普通學校は卒業したが雜誌一頁碌々讀めはせず又朝鮮文の手紙一枚書くことも出来ないといふが父兄が嘆くも無理のない話である。

X

X

X

普通學校の用語

乳飲兒は泣くのを以て自己の要求を表はしてをるのである。腹が減つても泣き癡場所が悪くても泣くのである。又體の具合が悪くても泣き母親の顔が見たくとも泣くのである。斯くして總ての欲求を表はし且意思を表してをるのである。單に簡單なる泣聲に過ぎないけれどもその内容は以上の如く單純ではないのである。少くともその全生活を代表するものである。

X

X

X

乳兒の生活は比較的單純であるだけにその發表や要求も簡單であるが逐々成長するに伴はれてその生活の内容も漸次複雑となり發表や要求も泣聲だけでは満足しないや

うになるのである。而して其の次には泣く代りに言語を以て表示する様になるのである。吾人が兒童の生活を觀察するに彼等の生活範圍は自己生活に直接關係を有するものに非ざればそこには何等の趣味も有たないのである。その言語の内容も自己の興味を有たないのは不徹底である。遂に彼等の言語は比較的單純で生活も言語に正比する様になるのである。

× × ×

それが爲に自己の言葉にあらざれば自己生活に満足を得難く向上發展せしむることも出来ないのである。これはその兒童にはその固有の言語が必要であると云ふ事で即ち朝鮮の兒童には朝鮮語が必要である、否朝鮮の兒童には朝鮮語にあらざれば絶對不可能である。

× × ×

現下普通學校では朝鮮語を除いた外には全部日本語のみを使用するのである。のみならず前にも論じた如く取締が極めて甚だしいのである。朝鮮人先生にも必ず日本語で話させること、日本語に非ざれば質問し得ぬこと誤つて發した朝鮮語一回に一錢の罰金を取ること。その外些細なものは列擧するに遑もないほど苛らく堅いのである。

そうした教育の効果がどうであり、弊害が如何程あるかをと云ふことは以下各學年別に論じて見よう。

第一學年

其の地方と教育普及の程度に依り入學年齢の差異も多少あるが凡そ六、七歳から九、十歳位のもので平均七、八歳に入學するとしても今日の我々の程度から見て八、九割は皆無學文盲の子弟であるが爲に諺文も知らないで入學するのである。

此の責任は勿論父兄にもあるがしかし單に父兄のみを責めたくはないのである。父兄自身が諺文も知らないのみならず生活に追はれて子弟を顧る暇がないのである。父は野原に出て働き母は日稼をするのである。彼等は斯かる立場にありながらも息子でも學問させて人に侮辱されないやうにしたい爲め天に徹する程の怨恨と血誠を以て汗で集めた學資を出して入學させるのである。

これを見る時に「あー神よーこの幼い人達を憐れんで下さり」と云はざるを得ないの

である。入學兒童と云ふのは大部分上述の程度のものである。諺文さへも知らないのは勿論自己の言葉それまでも實に幼稚なものである。他人の言葉を聞くときその言葉が自己の生活範圍を脱した少し複雑な言葉であれば理解されないと同時に趣味を有たないのである。教師が朝鮮人であつてもその兒童に適當しない言葉を使用すれば亦理解と趣味を知らない様になるのである。

X X X

自分の言葉でも斯の如き兒童に若し一度も聞いたことのない外國語を使ふとすればそれはどれほどの苦痛を感じるであらうか兒童は入學式當時からばんやりとして唯椅子に腰を掛けてをるだけである。そして教師の動作と口だけを見守つてをつてそして先生がする通りにして行くのである。其の内幾人かゞ先生の口眞似をするやうになるので外の子供達はそれを見て不思議さうに見てをるのである。そして暫くしてから耻かしそうに好奇心を以て先生の口先を眞似て行くのである。かくて初めて先生の教へる教育用語に身を入れて行くのである。

教師 コクバン

生徒 コクバン、ココバン、コバン

教師 も一つペン

生徒 モーツペン

教師 これが黒板です

生徒 コレガコクバンデス

教師 それは言はないんです

生徒 ソレハイワナインデス

斯の如く教師が教へようとする教科上の主語もそれを説明しやうとする説明語も生徒は一切適切交ぜこぜに先生の口眞似だけして恰も鸚鵡の如く眞似ることだけ眞似て行くのである。

x

x

x

實際三學年は中心學年であり、重要な時なのである。而も教材の内容は五、六學年を除くの外各學年中一番日本の教材が多い。修身は十八課あり、日本語は五六兩卷で十四課あつて當局もそれだけ力を注いでをることが見ゆるのである、

しかし教材の理解難と用語の不充分の爲教師の期待と生徒の欲求は水泡に歸して了ふことが多く修身課が修身教授なのか日本語教授なのか区分することが難しい位で時

間を空費し徒勞するのみである。

日本語の教材の爲にそうであり算術は用語だけよく覚えてをれば内容は別段六ヶ敷いものではないが説明してをる日本語を理解することが出来ないから結局算術を理解することは難しい事になる。

×

×

×

作文の時間になると第一の苦痛は「朝鮮語の何々は日本語で何々と云ひますか」と云ふ質問の連發である。そんなに骨を折つて作つたものに對する教師の訂正が又大變苦心を要するのである。誤字、脱字、不成語、日本語、朝鮮語の相異點の區別し難きもの等ありその大半は朝鮮語を直譯して書いたものであつて迎も整理に骨が折れるのである。これを朝鮮人だから朝鮮語で書いたらどんなに書きよく読み易く、且天真な作品が出来てどんなに趣味があることだらう。

×

×

×

四 學年 以上

三年を過ぎて四學年以上になれば用語に對する不便は多少少くなる、しかし全精力を悉く日本語に搾られて他の學科に力を注ぐ餘暇がなくなる。其の結果は日本語も完

全でなく、他の學科も充分でなく、何んだ彼んだで時間を空費し精力を空費するのである。萬一六年間の用語を朝鮮語でしたならば日本人兒童が七年間かゝつてをる。高等科までも六年間で修了することは容易であらう、實にそれ以上の聰明と素質がある。

×

×

×

入學から卒業まで用語に厭へられ伶俐な聰明と優秀なる個性を發揮すること能はず天眞なる生活あれども習ひたるものを實生活化することは出来ないのである。それでも之を教育と云ひ使命を果したと云ひ得るであらうか。當局者が如何に辯明しても事實が有力に證明しつゝあるを如何せん。

×

×

×

自己の言語であつたならば簡単に了解し得ることを外國語である爲めに二遍三遍重ねても氣持よく覚えられぬ。家庭では朝鮮語で一つ二つと習つたものを學校に行けば日本語で一つ二つと教へられるのである。直言すれば時間を失ひ精力を減退せしめてをるともいへるのである。彼の他の國の兒童等が自己の言語を以て教育を受け、その活撥なる態度を見る時は朝鮮の可哀相な子弟の身の上を考へて涙を催さざるを得ないのである。

父兄たる我々所謂先進たる我々は果して如何なる方法を講じたらよいか。如何にして此の問題を解決したらよいだらうか。我々の前途は我々の力を以て開拓しなければならぬ。絶叫せよ、奮發せよ、政治的計策政を離れた眞教育に意義ある教育を主唱せよ。

普通學校教員は全部朝鮮人を採用せよ

(中外日報社説)

(略)教育なるものは比較的成熟せる先輩が此の社會生活を學ぶに未熟なる後輩を薰陶することを指したものであり、教育の目的は兒童に此の社會に適當なる道德的理智的狀態を發展せしむるにあるのである。

x

x

x

日本人教員を普通學校に採用する教育政策は以上吾人が主張する教育の本義と目的に違反するのである、日本人教育は其の人が日本人であるだけ、朝鮮人の思想感情慣習等手つ取り早くいへば朝鮮人の社會生活に對する理解が迂遠である。

x

x

x

此の社會生活に迂遠である日本人教員が、此の社會生活に未熟なる朝鮮人兒童を薰

陶することが教育の本義に矛盾しないで済むであらうか。朝鮮人の社會生活に理解なき日本人教員が其の社會生活に適當なる人材を養成せんとする時、教育の目的に脱線することなきや。師範學校に於て日本人教員に朝鮮人社會生活に對する相等なる智識を教へるにした所で、その「相等なる智識」だけでは完全なる教育を施すことは期待し難いのである、

× × ×

模倣性豊富にして感受性鋭敏なる白紙の如き兒童の心理と品性を陶冶し社會的生活に適當なる市民を養育する教員は「相等なる智識」ある者にあらず其の社會生活を「體驗」せる者であらねばならぬ。故に下の如き條件の本に

- (一) 兒童と教員間に情濃厚にして兒童の模倣性と感受性は全的なること
- (二) 兒童の切なる要求に應ずること
- (三) 兒童の智的・道徳的原質に根本的陶冶を加へること——是れ普通學校に朝鮮人教員のみを採用せよといふ第一の理由である。

× × ×

校に朝鮮人教員のみを採用せよといふ第一の理由である。

勿論、總督府當局が日本人教員を普通學校に採用するのは其の趣旨が日韓同化策にあ

るのである。しかし朝鮮人児童が果して日本魂に感染するであらうか、新聞紙上往々朝鮮児童が結束して日本人校長又は教員に反抗して居るのを見るが、又児童が家庭と環境と社會が「朝鮮的」なるを忘却していいであらうか、甚だ疑問である、假令幼稚なる児童が日本人教員に同化されたとしても在來の經驗に依れば、それは幸か不幸か暫時のであつて、彼等は成長するに従つて自動的に朝鮮人の意識に歸り、朝鮮人本位の社會生活を營むに至るのである。

X X X

朝鮮民族の思想感情慣習は幾千年間の努力の結晶である。世界の文化を發表せしむる爲各民族は固有の思想と感情を更に精密に更に深遠に發展せしむることを前提とする。然るが故に朝鮮人の文化を阻止することは世界の文化を阻止することになりはせぬか、又事實上文化を抑制すること能はざれば何の爲に同化策を實施し何の理由を以て普通學校に日本人教員を採用するのか、(略)これ第二の理由である、

第三の理由は朝鮮人の切實に感ずる教育普及の必要からである。朝鮮全體には學校不足の爲め就學不能の児童幾萬なるを知らないのである。然るに全國に校數一千百八十七校中朝鮮人校長は僅か三十七人であり。校長事務取扱は二十名内外であり其の餘は

悉く日本人である。而して日本人は朝鮮人よりも總て高給である、而して教育の本義に矛盾し教育の目的に違反するに何を以て日本人教員を採用するのか——其の冗費を節減して學級を増し未就學の兒童の收容に力めよ。(略)

× × ×

前年の情勢を受けた昭和三年は盟体を執行した學校が八十三校を算し民族思想の發露と認めらるゝ盟体が三十七件に及んで居る。右の内中等學校以上の盟休狀況を表示すれば次の通りである。

昭和三年盟休學校調

(中等學校以上の分)

學 校 名	原 因	發 決 月 日	結 果	備 考
京城公立第一高等普通學校	一 校長以下教授數名排斥 二 民族運動ノ一表現トシテ	昭和三年一月十四日	父兄ノ斡旋ニ依リ生徒陳謝登校ス	暴行生十二名檢束訓戒放免ス
咸北農業學校	一 昇格運動トシテ	二月十七日	生徒ノ軟化ニ依リ解決	暴行生廿一名檢擧六名ヲ起訴
慶南普州私立女子高等普通學校	一 退職教員ニ同情シテ	三月七日	同窓會幹部ノ調停ニ依リ解決	
全北私立高等普通學校	一 校長排斥	三月十二日	生徒ノ悔悟ニ依リ解決	
平壤私立高等普通學校	一 校長以下教師ノ排斥 二 試驗問題ノ爲	三月二十四日	生徒ノ陳謝ニ依リ解決	三一記念日ヲ引例講演シタルモノニ嚴戒

同盟休校の原因、種別

同盟休校の原因、種別

學校名	原因	發生月日	結果	備考
京城私立青成	一 教員排斥	三月二十日	事前發見ニ依リ盟 林迄ニ至ラス	
女子商業私立	一 申教授ノ留任運動ト シテ 申教授ノ使職ニ依ル	四月十日	主謀者ノ檢舉ニ依 リ生徒散化登校ス	暴行生二十七名檢舉五 名ヲ檢舉ニ送リ二名有 罪トナル
官立京學專門學校	一 校長排斥丸山學監退 職ニ同情	四月二十五日	學校ノ善處ニ依リ 解決	
咸興公立農學	一 朝鮮歴史朝鮮語教授 等 民族運動ノ一表現ト シテ	五月十一日	主謀者ノ處分ニ依 リ軟化登校ス	暴行生約百名檢束十五 名起訴懲役八ヶ月以下 ノ判決アリ
咸興公立農業學校	一 實習缺科ノ爲處分セ ラレタル生徒ニ同情 民族運動ノ一表現ト シテ	五月九日	主謀者ノ檢舉ニ依 リ登校スルニ至ル	暴行生九名檢舉四名起 訴懲役八ヶ月以下ノ判 決
咸興公立商業學校	二 教員排斥 民族運動ノ一表現ト シテ	五月十七日	生徒ノ悔悟陳謝ニ 依リ解決	暴行生六名檢舉三名起 訴懲役六ヶ月ノ判決
全南麗水	一 教員ノ充實ヲ要望	五月十八日	上級生ノ慰撫ニ依 リ解決	
京城私立徵文	一 學友會ノ自治獨立	五月二十三日	協議中ニ探知事前 解決	
京城普通女子	一 李玉三週年ニ白服颯 制着用運動トシテ	五月二十四日	主謀者ヲ懇諭シ解 決	
慶山南信私立	一 教員排斥其他	六月五日		未 解決
開城私立松都	一 教員排斥	六月十一日	未 解決	暴行生十一名ヲ檢束訓 戒放免ス
平北寧邊	一 校長排斥	六月十三日	父兄ノ懇諭ニ依リ 解決	

京 城 私 立 學 校	高 等 普 通 學 校	平 北 私 立 五 山 校	金 山 公 業 學 校	慶 南 東 萊 公 立 校	慶 南 金 業 學 校	光 州 公 立 校	光 州 公 立 農 業 學 校	金 北 金 業 學 校	光 州 公 立 農 業 學 校	光 州 公 立 農 業 學 校	平 北 金 業 學 校	慶 南 金 業 學 校	慶 南 普 通 學 校	開 城 私 立 學 校
二	一	一	二	二	一	一	二	二	二	二	一	一	一	一
教員五名ノ排斥 學友會ノ自治要求	教員排斥	校長ノ排斥 民族運動ノ一表現ト	校長以下 二教諭排斥 シテ	教員排斥 シテ	退校處分者ニ同情シ 民族運動ノ一表現ト シテ	校長以下 二教諭排斥 シテ	校長以下 二教諭排斥 シテ	校長以下 二教諭排斥 シテ	校長以下 二教諭排斥 シテ	校長以下 二教諭排斥 シテ	朝鮮史朝鮮語ノ教授 要求運動トシテ	朝鮮史朝鮮語ノ教授 要求運動トシテ	朝鮮史朝鮮語ノ教授 要求運動トシテ	松尾校長排斥
六月二十五日	六月十三日	六月十一日	六月十一日	六月十一日	六月十一日	六月十一日	六月十一日	六月十一日	六月十一日	六月十一日	七月七日	七月七日	七月七日	七月十一日
主謀者ノ處分ニ依 リ解決	主謀者ノ處分ニ依 リ軟化登校ス	父兄ノ斡旋ニ依リ	父兄ノ斡旋ニ依リ	父兄ノ斡旋ニ依リ	父兄ノ斡旋ニ依リ	父兄ノ斡旋ニ依リ	父兄ノ斡旋ニ依リ	父兄ノ斡旋ニ依リ	父兄ノ斡旋ニ依リ	父兄ノ斡旋ニ依リ	主謀者ノ處分ニ依 リ解決	主謀者ノ處分ニ依 リ解決	主謀者ノ處分ニ依 リ解決	
														未 解 決

同盟休校の原因、種別

同盟休校の原因、種別

學 校 名	原 因	發 生 月 日	結 果	備 考
官立水原高等農林學校	秘密結社事件檢舉ニ當リ學校ノ處分不當トシテ	九月二十一日	軟化陳謝ニテ登校ス	
慶南統營公立水産學校	岡崎教諭排斥	九月二十五日	生徒ノ陳謝ニ依リ解決	
大邱公立高等普通學校	生徒ノ自治獲得	九月二十六日		未 決
金北私立高等普通學校	内地人教員ノ排斥	十月十三日		未 決
京城私立徵文高等普通學校	校長排斥	十月二十二日		未 決
大邱私立信明女學校	校長以下教員排斥	十一月十九日		未 決
計 三十六箇校				

此の内主なる事件の概要を略記すれば前年七月咸興高等普通學校は學校をして殖民地統治の一機關たる事から解放せよと稱して盟休を行つたことは前述の如くであるが更らに再び前年の要求實現を期して五月一日から盟休を始め主謀者等は屢々登校生に暴行脅迫を加へた、警察では之れを檢舉し學校側に於ては退學を命じたので直接行動は徒に犠牲者を出すのみなりとし宣傳戰に依り輿論喚起に努めざるべからずとなし次の如き檄文を鮮内中等學校及在

内地鮮人諸團體宛發送した。

× × ×

全朝鮮被壓迫同志諸君に檄す

數年來積りに積りし我等の不平は昨年七月に遂に爆發せし吾等の同盟休校！其は當時校當局の瞞着の手段に凡ゆる吾等の要求條件は今年三月迄企待する事になつた然し今年三月は既に數月を過ぎたか欺瞞を事とする校當局は何等の處決かなかつた敬愛する同志よ！！今日吾等が受けつゝある植民地教育なる擯取を前提とせる魔酔劑なる事は勿論良く判る事である然し當時一部識者達は漫評或は批評し同盟休學は現代學生等の流行病だとか思想中毒だとか云ひ嘲笑するのみであつた然し是は却つて識者自身達の現社會情勢に對する認識の不足か知らせることが出来ない軍國主義の馬蹄下にて蹂躪され所謂宗主國との差別的教育の不滿と義憤が積りし吾等五百餘名の心膽は遂に破裂し盟休の反旗を再び掲げざるを得なかつた事は等しく被壓迫の同志大衆諸君の周知せらるる所と思ふ然し專制に熟したる校當局は解決の誠意の光は毫も發見すること能はず只管抑壓を以て待ちたる上決局答辯なる物は「今回の事件に對しては全部道當局に

一任したる故我等は何等の關係がない」と云ひ韓恂欽教諭は「總督府政務總監が來咸の時曰ふには「盟休が瀕發する朝鮮中等學校二三校位は廢校せしめても妨げない」と宣言せられたからお前達は思ひの儘やつて見ろ」又校長代理たりし澤木茂正教諭は曰く「自分は眞正なる教育を爲すのではない金錢でも取得し飯でも貰つて食はうとするのが目的だから當局の指令の儘服従するのみだ」と豈そのみだろうか彼の暴惡千萬なる山根囑託は曰く「禽獸の如きお前等に教育何か無用だ」とか如何にして我等にのみ局限するだらうか!!此の如何に植民地擄取教育軍國主義の奴隸的教育にのみ熱練せる奴等の告白でないか見よ!!今日我等の受くる教育正體を奴等自身に曝露せしめたのである殊に政務總監の蠻勇なる發言こそは假借なき直言であることだ奴等の正體は日々に斯くの如く曝露せられるのである校當局よりも能く解決するを得るにも拘らず事件全部を道當局に全任せば道當局者等は警察署に皆委任して解決を求めんとす是如何に聯系的であり教育者としての無責任なる沒常識なる態度を表示せるに非らずや市内路次々には警察の魔手陣を配置し校外外庭には佩劍金靴の辛辣なる音のみ騒亂せしめ校内には刑務所看守の様に刑事隊と正服警官隊を配置し恰も殺人強盜犯でも逮捕する様だ深更に安眠する同志と白晝大路にても高普徽章だけ見れば見付け次第同志等を

無條件下に拘引しては曖昧にも四五日宛拘留場に苦しめさせては更に検事局に送護送
是こそ直ぐに植民地特殊現狀であるのである

長い間蹂躪されたる同志諸君!!

吾等商品視する奴隸的教育植民地差別教育を首肯すべきであろうか否抑壓には必ず
反作用がなければならぬ又我等は恐ろしき魔酔劑是を首肯しつゝ其儘嚙下するを得ざ
る我等ではない又見よ學校道廳警察所謂市内數人の學父兄其の他官僚輩一同一線上に
て軍國主義に買収せられし人物等が集會して組織せる學校後援會一斯くの如く四角形
に我等を取巻き無理なる抑壓を與へたのである一箇月餘も掛つて當局者等は唯二十名
の犠牲者を出したのみであつた。

同じ境遇に處せる同志諸君!!

再び見よ! 奴等は明春より朝日共學に妄説を飼羊の毛を抜き搾りて最後に返さんと
の準備であるのだ。

被壓迫同志諸君!!

吾等は矛盾の教育制度を打破せねばならぬ新社會の役者となるべき吾等は皆共に義
憤の心血を脊に積んで精神を勵まし共に反旗を掲げねばならぬのだ

- 一 朝鮮人本位の教育を獲得しやう！
- 二 植民地差別的教育制度を打倒しやう！
- 三 朝日共學に絶對反對しやう！
- 四 軍事教育に絶對反對しやう！
- 五 校内學友會自治制を獲得しやう！

一、九二八年六月

咸興高等普通學校盟休生一同

×

×

×

い〇 此の檄文が鮮内中等學校生徒に尠らぬ衝動を興へたことは論ずるまでもな

公立咸興農業學校は五月三日公立咸興商業學校は五月七日共に咸興高普校に倣つて盟休を始めた。

私立徽文高等普通學校は五月二十三日盟休を始むべく協議中を探知し主謀者を退學せしめ事無きを得た。

公立釜山第二商業學校は六月十六日から盟休を初めた

これは東京學友會外二團體名義發行の咸興高普盟休事件に對し全朝鮮學生諸君に檄すと題する次のリーフレットに刺戟されたものであつた。

×

×

×

咸興高普盟休事件に對して

全朝鮮學生諸君に檄す。

親愛なる學生諸君！日本帝國主義の鐵蹄の下に蹂躪される朝鮮民族に残つてをるものは何であるか？彼等の非人間的擄取に吾等の膏血が盡き彼等の警察政治に吾等の政治的自由は悉く剝奪されたではないか！尤も彼等が諸君に強要する奴隸教育は彼等の植民地政策を如實に表現したものである。彼等は何故に諸君に朝鮮史の教授と朝鮮語の使用を禁止するか？彼等は何故に朝鮮の子弟たる諸君を教養するに於て日本人本位で教師を使用し吾等の朝鮮に日本人本位の教育を實施するか？日鮮人共學制は何が爲に實施せんとするか？之れが朝鮮民族の爲の教育であるか？

否然らずである。それは諸君の頭腦から『朝鮮と』云ふ觀念を根絶せんとする魂膽か

ら出た企圖である。諸君は深く記憶せよ！今日の朝鮮教育は諸君に對する阿片である、それは諸君を永久に彼等の奴隸と走狗にせんが爲め朝鮮民衆を完全に彼等の狙上魚肉にせんが爲の觀念的武器である。朝鮮の學校は諸君を暗黒の巢窟に永久に眠らせる觀念的阿片の工場である。

然し諸君！朝鮮の學生は斯かる人爲的睡眠を永久に甘受しない。彼等の不平不満は全國的に膨大して行く。

それで二三年來に盟休の巨濤は全朝鮮を震撼して來た。然し盟休が發生する度毎に學校と警察は醜雜なる野合をして學生に對して凡ゆる彈壓凡ゆる誘惑をして來た。その度毎に吾が在東京三團體は學生の鬪争を力強く支持すると同時に學校と警察に對して絶えず抗争して來た。

然るに去月八日又復咸興高普に盟休事件が爆發した。日増に紛糾は益々甚だしく行つて行く、學校の學生に對する直接間接の懷柔分離策と彈壓策は漸次露骨化して行き警察の取締は益々甚だしくなつて行く。見よ！警察は十四五名の學生を檢束取調べたその理由は今般檢束された學生が幾人かの軟化學生に對して暴行を加へたからである。然し之れは戰鬪的學生を直接彈壓せんが爲に造り出した口實に過ぎない。假令學生間に些小なる喧嘩があると云つても只それを理由として多數の學生を檢束するのは

學校行政に對する警察の直接干渉を意味するものである。

然るに今般の咸興高普盟休學生の要求條件は殖民地的奴隸教育の典型的履行者とも云ふべき同校々長の排斥民族的差別教育の撤廢にあると。之れが如何程正當なる要求であり此の要求を貫徹せんが爲の鬭争が如何程正當なる鬭争であるか？尤も客年七月幾個日人教諭排斥及其他の數箇條件に因つて同校に紛糾が發生した時、學校當局は空の手形を濫發して學生を懷柔登校せしめ殆んど一箇年を経過した今日に至る迄約束を實行しなかつた。之れも今般の事件の有力なる動因であると。

見よ！彼等の純眞なる學生を欺瞞し、籠絡する此の罪惡を。之れが果して教育者の態度であらうか？

學生諸君！又復今月五日に咸興商校に盟休が起つた。のみならず、咸興農校にも盟休が起つた。斯くして北鮮の小都市には學生の一種地方的總罷校が起つた。之れは決して一校一地方の問題にあらずして全朝鮮學生全朝鮮民族の問題である。以上の三箇校の學生は全朝鮮學生の切實なる要求と利益とを代表して戰つてゐる。それ故に全朝鮮學生は彼等の勇敢なる鬭争を力強く支持しなければならぬ。

奴隸教育は諸君に下す魔手である。

それ故にその魔手を排除せんとせば、以上の三校の勇敢なる戰士を鬭争を以て支持し

なければならぬ。唯各學校を中心として鬭争が最も大なる支持になる。全朝鮮の學生諸君は奮起して奴隸教育の牙城に肉迫せんが爲に

- 一 專制校長を逐出せよ！
- 一 學校と警察との野合は絶対に反對だ！
- 一 檢束學生を釋放せよ！
- 一 校内に學生自治制を確立せよ！
- 一 植民地奴隸教育を撤廢せよ！
- 一 朝日共學制實施は絶対反對だ！
- 一 學生の全國的單一體を樹立せよ！

在東京朝鮮留學生學友會

朝鮮青年
總同盟 在日本朝鮮青年同盟

新興科學研究會

x

x

x

此の檄文は鮮内各地に配付され之に刺戟されて盟休するに至つた學校が尠くなかつた。如何に學生の心裏を混亂せしめたかは想像に難くない。

公立東萊高等普通學校も右檄文に刺戟され内地人教師の排斥、辭語時間の

増加學校講演會に鮮語の使用等を要求して六月十八日盟休を決行した。

公立光州高等普通學校は同校生徒李景榮なる者が共產黨と稱する不穩宣傳ピラ貼付並不穩文書を郵送したる事件に關し檢舉された、學校に於ては之を退學處分に付したるを動機に犯罪の確定せざる以前に退學處分に附するは不都合なりとし朝鮮人本位の教育其他數項を要求して盟休した、生徒等は結束を圖る爲め中央執行部及地方代表なる機關を組織し中央執行部には參謀部、通信部、外交部及會計部を置き歸省學生に屢々檄文を飛ばし結束連絡に努め又學校及父兄其他に不穩文書十數通を送付した。本校盟休には在東京卒業生等が母校紛糾事件對策講究會を組織し學校長、父兄會代表、同窓會代表等に對し聲明書を送り又休暇歸省中の留學生三名を代表委員として問題解決の爲と稱し或は校長を訪問し或は同窓會、父兄會等に對し直接間接に盟休生の氣勢を煽る如き言行ありし爲所轄署に於て檢束嚴重加諭した。

公立光州農業學校、公立光州女子高等普通學校生徒は何れも同地高普校に倣つて盟休の舉に出た。

公立晋州高等普通學校生徒は例の威興高普校盟休事件に關する檄文に刺戟

され朝鮮教育制度の改革を要求するには全鮮生徒が一致團結して抗爭せざるべからずと爲し同地農業學校生徒を誘ひ共に要求條件を議し内務、外務、調査、警務の四部を組織し盟休を行つた。農業學校の一生徒は盟休事件の主謀者と目せられたるを憤慨し同校々舎に石油を注ぎ放火したるも宿直員の發見するところとなり大事に至らずして消し止めた。

水原高等農林學校では同校生徒の秘密結社事件檢舉に際し學校當局が校内を警察官に搜索せしめ又未だ犯罪確定せざるものを放校又は停學處分に附したることは不當であると稱して九月二十一日同盟休校を執行した。

私立大邱高等普通學校では生徒の自治權獲得と内地人教師の排斥を要求して九月二十六日同盟休校した本校の盟休は學生等が組織して居た共產主義の秘密結社に於て理論の研究から實際運動への第一歩であつた(詳細後説)

私立培材高等普通學校では十一月六日日本天皇の即位式に際し平穩に此の祝賀を迎すは朝鮮人の政治的服従を表明することとなり正に民族の一大恥辱たるを以つて奉祝氣分に心酔せる民心をして擾亂せしむべしと爲し同盟休校を執行せんとしたが未遂に終つた。此の事件も裏面に共產黨の手が動いて居

たのであつた。(詳細後説)

在東京朝鮮青年同盟員李玄徹早稻田高等學院生徒金正洙等は九月上旬學生
ストライク擁護全國同盟を組織し大邱高普校及徽文高普校の盟休に際し次の
如き不穩ビラを送つた。

殖民地奴隸教育を打倒せよ

x

x

x

全 朝 鮮 學 生 聯 盟

- 一 朝鮮人本位の教育を施設せよ
- 一 校内の學生自治權を獲得せよ
- 一 校長の校長會議參加に絶對反對せよ
- 一 反動的專制教育者を逐出せよ
- 一 徽高盟罷を絶對死守しよう
- 一 大高盟罷を積極擁護しよう
- 一 全國學生は一日間同情罷學斷行せよ
- 一 盟罷學生に檄文檄電を發送せよ
- 一 校内の警察干涉は絶對反對なり
- 一 檢束されたる盟罷學生を奪還せよ

一九二八ノ一〇ノ二五

學 生 聯 盟 全 國 同 盟

×

×

×

其の他大小盟休事件に關し盟休生の聲盟書左傾團體の不穩檄文等が無數に發送された、其の重なるもの二、三を示せば次の通りである。

京城女子商業學校の盟休事件に對し新興科學研究會より發

送したる抗議文

日本帝國主義の派遣隊なる朝鮮總督政治の我が朝鮮民族に對する暴壓は我等の青少年學生層まで其圏外に置かない様にしたのである、最も其等の殖民地的奴隸教育政策の執行者であり其の走狗の役割を擔當する所謂朝鮮の學校當局者等の反動的態度は眞に今日の朝鮮人としては許すことの出来ない背信と云はねばならぬ、其等の朝鮮人の苦しい青少年學徒の育英を眼中に置かず學校當局は支配當局との淫奔なる野合の下に警察の威力を以て吾等の學園を蹂躪して居るではないか今般貴校の三十餘人學生檢舉事件は朝鮮の腐敗せる學校當局者の醜惡なる正體を如實に曝露されたるものにあらずや吾等は一切の殖民地的奴隸教育の徹底的打倒を期し學徒の集團を以て今般貴校の不

當に蹂躪せられる姉妹の爲めに若等鐵面皮なる學校當局者等の反動的行動を徹底に彈劾しようとする今般の學生檢舉事件は明に全學生大衆に對する反動的彈壓なるものと認め吾等は茲に不當處置に對し貴當局に抗議す

一九二八年五月四日

新興科學研究會 謹

京城女子商業學校長貴下

× × ×

私立光成高等普通學盟休事件に對し在日本朝鮮青年同盟よ

り送付せる檄文

檄

光成高普盟休事件を鬭争を以て應援しやう!!

日本帝國主義の殖民地奴隸教育政策は我朝鮮青少年の學生諸君に何時も永眠劑の注射を強制して居る奴等の凡ゆる政策は我朝鮮青少年諸君を欺瞞し墮落の深淵に屢々陥れんとするものである、師範學校、農業學校、巡查養成所等日本政府が今朝鮮内地に

て實施して居る教育制度の裡面を見ると、其の陰險野鄙なるは我朝鮮を永遠に日本政治の治下に隸屬せしめんとする一譎策が學生諸君の日常經驗より餘地なく暴露されて居る、朝鮮歴史除外朝鮮語使用禁止教員の日本人本位等之を如何に見ても我朝鮮青少年學生の腦裡より「朝鮮」なる觀念を永久に除去せしめんとする考である、此の凡ゆる廣汎なる政治的不平より我學生諸君は奮起せざるを得ない、是今各處に起れる所謂學生盟休事件である

殊に近頃起つた基督教會の經營たる平壤光成高普の盟罷事件は已に月余に互り戰鬪的學生諸君の強固なる力を以て勇敢に闘つて來た、其の盟罷の理由は校長排斥、寄宿舎撤廢反對、學友會解散反對、犠牲者二十八人復籍要求基督教信教強要反對等である如何に正當なる要求ではないか？夫れにも拘はらず學校當局は露骨的に警察と野合し先頭にて最勇敢に闘争して居た數十名の學生を無理にも牢獄に押込めて居る、どうして夫ればかりだらう？學校體操教師の教授である、之又日本帝國主義の忠僕たる中尉李喜謙を使嚇し軍力を以て學生を亂斬したといふ、諸君！是實に朝鮮教育者の敢行すべき態度であらうか？吾々は茲に於て日本帝國主義の奴隸教育政策の本質を一度認知すると同時に該校の經營者たる基督教會の醜態を知ることが出来る、而て京城男女商

業學校大邱高普も亦今動搖しつゝある

諸君！斯く雨後の笈の如く各地に蜂起する盟罷事件は何を語るか？之は少くとも朝鮮青年運動の一部隊たる學生諸君の日本帝國主義の奴隸教育政策に對する勇敢なる闘争であらねばならない然らば吾々は彼等を如何に支持し應援すればいゝのか？帝國主義等の植民地奴隸教育政策の陰險なる裡面を如實に曝露せしむると同時に彼等の日常生活に對する些少なる不平不満をも殘る處なく指摘し校内の闘争より日本帝國主義に對する闘争に進展せしめねばならない、斯る意味にて本同盟は次のスローガンを以て積極的に闘争を應援すべきことを期する

- 一 學校教員を朝鮮人本位とせよ！
- 一 朝鮮語を以て教授せよ！
- 一 校内の學生自治を確立せよ！
- 一 學校と警察との野合に絶體反對せよ！
- 一 同窓會に對する學校當局の干渉に絶體反對せよ！
- 一 寄宿舎の專制的壓迫に抗争せよ！
- 一 朝鮮歴史を教へよ！
- 一 教員の任免を學生の意思に任せよ！
- 一 中等學校に朝日共同制實施に絶對反對せよ！
- 一 學校の凡ゆる施設を完全にせよ！
- 一 軍事教育實施に絶體反對せよ！
- 一 日本帝國主義の奴隸教育政策に徹底的に抗争せよ！

一 學生の全國的單一體を樹立せよ！

一九二八年四月 日

朝鮮青年 在日本朝鮮青年同盟
總同盟

×

×

×

同じく光成高等普通學校盟休事件に關し在東京朝鮮留學生

學友會及在東京新興科學研究會聯名にて送付せる聲明書

光成高等普通學校盟休事件に關する聲明書

去る三月十五日頃に校長の專制的行動に憤慨して起れる光成高等普通學校學生の盟校事件は日に／＼紛糾に紛糾を重ね今や一月餘を越ゆるも解決の曙光を見ず此の事件の進展するに従ひ學生に對する學校當局の彈壓は無謀なる警察の干渉は漸次酷甚になつて行く見よ！學校當局の不法處分の濫造に犠牲となつた學生は既に二十八名もあるし警察當局の×蠻的強壓的檢束の鐵蹄の下に蹂躪せられたる者已に十餘名に達するのみならず今後事件を深刻化するに従ひ如斯處分檢束が續出すべき事は火を視るより明かである。

如斯警察の露骨化せる暴虐無至なる干渉は朝鮮でなければ見れない現象である、併し夫れは次にしやう！學校當局の處置は果然教育者として正當なる處置で誠實なる態度であろうか！事件解決の鍵は誰が持つてゐるか？學校當局者自身ではないか？夫れにも拘らず彼等は「不良學生根絶の爲めには廢校も妨げなし」との暴言まで吐きつゝ學生に對し終始一貫の卑劣なる行動を取つて來た然し彼等の行動は其の横暴が之れのみ止まらず又見よ！去る三月十日には同校の體操教師某が盟休學生一名に對し争ひの後大膽にも抜劍亂打したことまであつた事を其の無法なる蠻行が之れより甚敷きものが何處に在り人權蹂躪が之れより甚だしきものが何處にあらう之れはサーベル政治に呻吟する全朝鮮被壓迫大衆はこのサーベル政治の代理履行者より徹底的に分離せねばならない

學生盟休は確實に朝鮮の特殊なる現状である然し夫れは一般的に殖民地教育政策の產物である

朝鮮學生なるが故に受ける特殊奴隸教育朝鮮學生なるが爲めに民族的蔑視朝鮮學生にのみ限れる特殊の差別的教育施設此れ盟休發生の社會的根據である之は客年全國各盟休校學生の要求條件と近日京城高商を始めとして起る幾校の動搖原因に明白に曝露

された事實である曰専制校長の排斥日本人教師の排斥曰差別的教育の徹廢曰教育施設の完備曰朝鮮語教授の採用等々其の何れもか殖民地教育政策に對する不平不滿の具體的發現でないものがあらうか？

夫れにも拘らず反動的支配階級は校當局者等は「學生の思想惡化」「外人の背後煽動に依る妄動」の語句を羅列し中傷と虚構とを事とし凡ゆる威脅と懷柔を兼用し學生の初歩的不平不滿を奔走したのみならず所謂紳士層は被等獨特なる處世觀に立脚し「時代病弊」「一大不詳事」「過渡期の病的現象」等の長嘆息をして事實の本質を隱蔽して來た

然し學生の不平不滿が以上の如き根深き政治的條件より胚胎せるものなる以上夫れが如何して彈壓、中傷、懷柔、隱蔽に解消さるるものであろう？夫れは依然として強力的に成長して行くのである

今回光成高等普通學校の紛糾も其の發生の直接的動機の如何に拘らず究極的には斯る政治的條件より胚胎せる不平不滿の具體的表現の一つである吾々は斯る見地より當校學生側の凡ゆる要求を正當なるものと認定し夫れを無條件に支持すると同時に當局者と無謀なる警察の不當なる處置に對し斷然に反對する

- 一 專制校長を逐ひ出せ！
- 一 拔劍教師を逐ひ出せ！
- 一 學生の自治權を獲得せよ！
- 一 殖民地奴隸教育政策に反對せよ！

一九二八年四月十九日

在東京朝鮮留學生學友會

在東京新興科學研究會

x

x

x

倣信學校盟休生の發送せる聲明書

倣新學校盟休に對し天下人士諸氏に告ぐ、滿天下人士諸氏我等は永く歲月を置いて學生々活に於て之を見た現代朝鮮教育は刻一刻と反動化されて往くのを否既に完全に反動化してしまつた「神聖なる教育とか」何んとか云ふ聲出して騒ぐ呪文は總て我等を催眠させむとする魔劑醉であるのを我等はすつかり見た

目を開きてゐる我等としては見ないとしても見ないことが出來ぬ一方にては最も我等の爲めにするか如きも意識的か無意識的か彼等帝國主義に秋波を送り彼等の既定方針

其儘を實行させんと盡心し彼等の罪惡を隱匿する憎むべきなる先生等の風を見て感じたことのない者は白痴である筈である。

只今朝鮮の天地には學生盟休の怒濤が捲起した諸氏よ之を單純なる流行的病と言つて平易に處理してはいかぬも少し其の本質を捕捉し如何にして斯くの如き現象が續發するかを研究すると同時に之を輕舉妄動であると言はず一つの大きな社會問題として取扱ふべきである。

滿天下人士諸氏よ今般我が倣新學校にも盟休の怒濤が來倒した我等は此の真相を公開し社會に聲明す諸氏は之を如何に見るか之れも一つの流行病的だと言つて一言に附してしまふとするのか然らざれば一部社會に逆宣傳其の儘を是認せんとするのか

諸氏よ極度に惱んで居つた我等は到底忍ぶことは出來ぬ人間本位でない現代教育制度が條件を作つて呉れた不平等と憤怒！學校に對し湧出する怨恨！我等としては到底一部社會の惡評を觀る餘地もない。

自由平等博愛を主とする倣新學校であつたら我等は可能なる範圍内に要求を陳情し水平的解決を熱望したけれども學校當局は再三延期を要求したる後其の儘其れを抹殺したのではないか？其の所謂學校の精神も欺瞞の標語である生徒籠絡の手段である事

を我等は知つた。

一、我等は同窓會の自治權を要求した我等は同窓會があると云ふ話を聞いた丈で其の内容其の規則其の金錢關係の如何は輪廓迄も知らざる者である先生獨裁は之何の横行か？學生をして組織された同窓會は學生自治が當然でないか尙ほ之の五百學生の同窓會金を一部基督信者の集合である基督學生青年會に補助してやると謂ふ學校側の話は過去同窓會費の濫用を歴々に話してゐるのではないか？

二、否それのみか！教員會は先生黨派間の詰鬪場で教員會時は蓮池洞が騒亂し毎日聲を枯らした先生等の面々！これを如何に見るべきや我等は之の暗黒の教員會を公開し生徒大衆の前に正當なる批判を受けると要求した我等はこの黒幕の開いて學校の將來のために是非曲直を明らかにせんとするのである然れども校長は「教員會公開も」三「三悦吳建泳兩先生の對詰仲介も」四「我は死んでも出來ぬ」と謂ふ之れが果然正當なる態度か？其の誰を恐れるのか

教務主任は「私はそんな對話をするのは某氏と同類項となるので出來ぬ」と云つた吳建泳先生の非行は我等の前に如實に現はれてある一部學生を衝動して置いて其機會を利用して某種の運動を計畫する野卑なる行動？

果然之が神聖だと自稱する宗教家の行動か？よし我等は其の氣味を知つた崔氏が同類項になりたくないと言ふのも一の回避である事を自己非行の曝露されるのを閉口しない吳氏!!自己秘密露出を恐れる校長!!

我等はこの中に誰が善い悪いと云ふべきか其の非行の一直線に立つだ同類項でなく何であらうか？

三、朝鮮を威脅する言論集會の自由束縛は神聖と云ふ教内に迄浸入して來たこれ即ち集會には先生に届出で生徒監の背席、先生の中止、禁止この如何ばかりか恨心に堪へざる現象か？之は現代法律其儘直輸入したのでなくて何か？これ如何程走狗的行動か？我等の叫ぶのは之總て鐵鎖より脱出せんとする我等の叫ひに社會の總ての民衆は堅く合唱せよ。

四、萬里學海を修めんとする我等は資格ある先生を要求するのは必然の事である。南相。饒。金。教。文。洪。昌。權。金。永。濟。柔道で生徒を數次亂打したる河村氏!!我が數百學生の切實なる要求が之等の排斥である。それにも不拘一分の誠意ある回答をしないのに之を如何にして學生の爲の學校と云ふべきか？

我等は善く學んが爲の切實なる要求である

何故同じき月給であり乍ら資格不充分なる先生を招聘するのか？我等は其本意が何處にあるかを知るに漠然である。

全朝鮮學生諸君よ

全朝鮮青年家よ

總ての學父兄諸氏よ

社會人士諸氏よ

血湧く四百學生の渴望の叫びが即ち我等の盟休である！！

盟休が社會的價値を正當に認識すると同時に力ある聲援を祈る

一九二八、六、六

徹新學校第一、二、三學年

盟休生一同

諸位

×

×

×

以上は最近に於ける同盟休校中特に顯著なるものを掲げ如何に民族主義化

し如何に左傾主義化したるかを明らかにしたのである。

更に又こゝに注意すべき事は近來學校卒業生を以つて組織せられた同窓會に於て會長に校長（内地人）を載くことを嫌忌し議事講演等に鮮語の使用を主張するに至つたことである此の傾向は益々擴大するに至るであらふと思はれる。

昨年五月二十六日吉林省磐石縣呼蘭集廠子に開かれた在中國韓人青年同盟創立大會に於て決議した綱領中に當面の鬭爭スローガンとして教育に關する事項に就き左の如く掲げて居る。

教育

- イ、朝鮮民青年少年特種教育の獲得
- ロ、日本帝國主義の殖民地教育反對
- ハ、男女共學生の主張
- ニ、青少年文盲の退治
- ホ、宗教と學校との徹底的分離

へ、學制及教科書統一主張

ト、學生學術研究の自由

在中國韓人青年同盟は從來滿洲、京津、南清、各方面に散在割據し互に自己勢力の伸張に努め派争を事として居た各青年團が主義宣傳上何等統一の運動なきを遺憾とし屢々其の統一を圖つたけれども機熟せざりし爲め其の氣運に至らなかつたが遂に昭和二年八月東支線海林に於て南北青年團體代表協議會を開き民族共產兩主義運動の統一及鮮内青年運動の連絡に關し協議を重ね民族運動に就ては朝鮮獨立黨の指揮を受け共產主義運動に關しては朝鮮共產黨の指揮を受くること竝に朝鮮青年總同盟と聯絡を採ること等を決議し統一促進に努めた結果遂に其の時期到來前記場所に於て創立大會開催に至つたのである。

五、同盟休校の結果

結果調……處分調……刑事處分調

同盟休校の結果を生徒の要求に對する處置盟休生及首謀者に對する處分等に就いて見るときは左表の通りである。

同盟休校結果調

結果	年											累計
	十六年正	十七年正	十八年正	十九年正	二十年正	二十一年正	二十二年正	二十三年正	二十四年正	二十五年正	二十六年正	
要求認容	二	七	五	一	一	三	四	一	二	一	三	二六
要求一部認容	一	二	四	一	一	二	一	一	二	二	一	一七
要求緩和	一	二	四	一	一	二	一	一	二	二	一	一〇
要求撤回	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一四
要求放棄	一	一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一六
非ヲ悟リ登校ス	八	三	八	四	四	三	四	一	二	三	四	一六〇
首謀者處罰	八	一	三	四	四	三	四	一	六	二	二	八七

計	其 ノ 他	未 解 決	處 分 取 消	被 處 分 者 ノ 任	ニ 要 求 ヲ 校 長	學 校 閉 鎖	首 謀 者 自 決	責 任 教 師 ノ 陳 謝	放 任	ニ 到 ラ ズ	ニ 信 頼 ス	學 校 ノ 聲 明	被 排 斥 生 徒 退 學	責 任 教 師 自 決	首 謀 者 檢 舉
三三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一
三三	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	二	一
五七	六	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一
一四	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四八	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一	一	一	一
五五	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	二
七三	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	五	四
八三	二	六	三	一	一	一	一	一	一	七	一	一	一	二	五
四〇四	三三	六	三	一	一	二	二	四	一	一三	一〇	一	一	一五	一四

盟休學生處分調

	警 察 處 分				學 校 處 分				合 計			
	送致	放免	檢束	說諭	計	退學	停學	謹慎		譴責	閉鎖	計
大正十年	三人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	七人
大正十一年	八人	一人	一人	七人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	十六人
大正十二年	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	九人
大正十三年	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	九人
大正十四年	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	九人
大正十五年	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	九人
昭和元年	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	九人
昭和二年	三人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	九人
昭和三年	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	九人
計	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七

盟休學生刑事處分調

備考	一 昭和二年ハ全部私立中等學校生徒ニシテ他ハ公立中學校生徒ナリ			二 (一)内ノ數字ハ刑ノ執行猶豫トス				
	計	罰金ニ處セラレタルモノ	一箇年以下ノ懲役ニ處セラレタルモノ	大正十一年	昭和十五年	昭和二年	昭和三年	計
	二	0	0	0	0	0	0	0
	九	1	9	9	1	10	10	10
	二	1	1	1	1	2	2	2
	五	1	4	4	1	5	5	5
	八	2	6	6	2	8	8	8

六、同盟休校の處理

學校の諭示……父兄會の斡旋……同窓會……左傾團體

結束の切崩……首謀者處罰……暴行者檢舉……學校の閉鎖

從來同盟休校の解決策として執り來つた直接の方法は次の通りである。

學校側の諭示 何れの學校に於ても同盟休校の起つた場合には先づ第一に學校當局の諭示に始まつて居る、然し此の方法に依つて解決するのは初等學校は別として中等學校以上にあつては生徒の要求全部若くは大部分が認容せらるゝ場合又は校長自身が非常なる人格者で生徒父兄の信賴尊敬が極めて厚き場合の外成效した事例は甚だ尠い。

父兄會の斡旋 父兄會の斡旋に依り解決するは純理上誠に當然の事であるが朝鮮の諸學校殊に普通學校に於ても從來父兄との聯繫が内地の夫れに比し

て密接でない様で父兄の教育に對する理解も極めて薄いので重大なる盟休事件の發生に際しても多くの場合父兄は我不關焉と云つた様な態度を爲す場合が尠くない、學校でも盟休既に發生して初めて周章或は父兄を呼び出し或は家庭を訪問し學校の立場を辯明する等只管登校を勸奨と云ふよりも寧ろ登校さして貰ふ様に歎願して廻ると云ふ方が適當である様な場合も尠くない、又父兄會が快く斡旋を應諾したる場合に於ても地方の民情に依り父兄中に民族的或は左傾的若くは事を好む者があつた場合は徒らに生徒の無法な要求を支持し却つて解決を困難ならしむる場合が尠くない故に父兄會をして斡旋せしむる場合は地方の民情及父兄の各個に就き適正なる觀察を下した後でなければ意外の失敗を來すことがある。

然し初等學校に於ける盟休の解決は全く父兄を度外に置くことも出来ないことは勿論である。今父兄會其の他の斡旋に依り解決を容易ならしめたものと却つて紛糾困難ならしめた事件を調べれば次の通りである。

計	思想團體	青年會	同窓會	父兄會		以上		昭和十五年	昭和	昭和	累計
				益々紛糾セシメタルモノ	解決ヲ容易ナラシメタルモノ	中等	初等				
益々紛糾セシメタルモノ	益々紛糾セシメタルモノ	益々紛糾セシメタルモノ	益々紛糾セシメタルモノ	益々紛糾セシメタルモノ	益々紛糾セシメタルモノ	益々紛糾セシメタルモノ	益々紛糾セシメタルモノ	益々紛糾セシメタルモノ	益々紛糾セシメタルモノ	益々紛糾セシメタルモノ	益々紛糾セシメタルモノ
解決ヲ容易ナラシメタルモノ	解決ヲ容易ナラシメタルモノ	解決ヲ容易ナラシメタルモノ	解決ヲ容易ナラシメタルモノ	解決ヲ容易ナラシメタルモノ	解決ヲ容易ナラシメタルモノ	解決ヲ容易ナラシメタルモノ	解決ヲ容易ナラシメタルモノ	解決ヲ容易ナラシメタルモノ	解決ヲ容易ナラシメタルモノ	解決ヲ容易ナラシメタルモノ	解決ヲ容易ナラシメタルモノ
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
一四五	一四五	一四五	一四五	一四五	一四五	一四五	一四五	一四五	一四五	一四五	一四五

同窓會 同窓會の斡旋は學校當局より依頼することよりも寧ろ先方から進んで斡旋を申し出づる場合が多い 従つて誠意の認めらるゝ場合も尠くないが彼れ等の解決方法は多くの場合双方讓歩に依り妥協點を見出さんとする方

法で仲裁方法としては巧妙なる方法であるが何れか一方の主張が強硬である場合は不成效に終るのである。

左傾團體　左傾團體が團體として表面介入した事件は少いが之等團體及主義者等は却つて解決を困難ならしめるので斯の種の介入は寧ろ排除する方が適當である。

結束の切崩　同盟休校は多くの場合二三主謀者の煽動と一般の附和雷同と大勢に動かされ餘儀なく附隨する者に依つて成立するので第三者は勿論第二者も理否明瞭になれば固より登校を希望する者であるから切り崩しは相當有效なる方法で盟体の斯くまで悪化しなかつた以前に於ては結果も左程固くなく切崩も容易であつたが今日に於ては之に備ふる爲組織を設け係員を置き文書言動に依り結束を激勵するを常として居るので切り崩しも中々容易でない且つ暴行脅迫等の犯罪行爲を助長せしむる虞がある。

主謀者處罰　主謀者の處罰は校規の維持と之が紊亂者に對する制裁と他生

徒に對する反省を促すことゝ不良分子の排除と四つの意味が含まれて居る、之に依つて直に解決するは初等學校盟休の外甚だ尠く却つて結束を固めしむる場合も尠くない。

然し之は學校に與へられた最大の特權であり、利器であると同時に最後の手段であつて數次の處罰は確かに解決に進む唯一の手段方法ではある。

暴行者の檢舉 從來學校側に於て凡そ以上の方法に依り手を盡すも尙解決に至らざる場合は暴行脅迫等の犯罪行爲に出づるを待つて首謀者を檢舉し之れに依つて解決を計る手段を講じて來た。又解決困難なる盟休事件には學校側と協調を保ち首謀者を拘束し或は檢束し其の間に學校側をして善處せしめた事もあつた。即ち盟休解決に警察力を利用したのであつて學校と警察の野合云々も此の邊の消息を指したものである。

學校の閉鎖 學校の閉鎖は官公立學校に於ては未だ一度も無いが一二私立學校に於て實行した事例がある。元來學生は學問を習はんが爲教授を受けんが爲に學校に通ふのであつて登校しないこと學問を習はないこと教授を受け

ないことは學生の苦痛であり。従つて學校は停學退學等の處分權を有しこれに依つて生徒を懲戒し指導し校規校風を維持し生徒を薰陶することが出来るのである。然るに學生の休校に依り却つて學校側に於て狼狽の狀を爲すことあるは當に主客顛倒の觀がある。

七、學生の秘密結社

(一) 大邱高普生を中心とする秘密結社

新女同盟……革女同盟……赤女同盟……一友黨……早司川會……早司同盟
丘火會

(二) 京城學生團の秘密結社

一黨……讀書會

(三) 其の他學生秘密結社

東萊高普校生の秘密結社……革潮會……無産少年會……美興學校事件……興農社

同盟休校が民族主義共産主義の一表現として行はるる様になつたことは再三述べた通りであるが彼等の思想は單に同盟休校のみに止まらずして共産主義を奉ずる秘密結社の組織にまで進んで居る、今其の概要を略述すれば左の通りである。

(一) 大邱高普生を中心とする秘密結社

大正十五年冬頃大邱高等普通學校在學生尹章赫、尙戊祥等八名は時代の變

遷り朝鮮の實情に鑑み吾々學生は生徒に殖民地奴隸教育の暴戾なる彈壓に忍びず汎く社會科學を研究し來るべき共產主義社會に立つべき準備の必要ありと爲しマルクス主義講座を開き朴光世、張赤字、金善基、柴田健介等を講師とし社會主義共產主義の理論と實際に就き研究して居たが回數を重ねるに従ひ同志の増加と共にマルクス學說に心酔する者續出するに至り遂に共產革命を熱望するに至つた。

新友同盟

昭和二年十一月下旬遂に彼等は學說及理論の研究より更に一步を進め組織結合を以つてマルクス主義の理論を實際に應用すべく協議し之が目的遂行の爲め秘密結社を組織し創立總會を開くこととなつた其の創立趣旨に曰く資本主義の生産力と經濟組織の矛盾に依り資本主義制度は或る階程を經過し歴史の必然の歸結として共產主義制度へ辿るものである。されば吾々は共產主義實現の目的を達せんとするものであるとなし又一つには帝國主義英國の印度及加奈陀に於ける、米國の比律賓に於ける、日本の朝鮮に於けるが如く自

治權を有せざる弱少民族が其の支配國の政治經濟的羈絆を脱し獨立を爲さんとする運動を助長せなければならぬとして、

一、我々はマルクス主義的革命戰術の涵養を目的とす

二、我々は被壓迫民族の解放運動を爲す

この綱領を掲げ結社を新友同盟と名づけ張赤宇を黨首に尹章赫を責任秘書に舉げ中央執行委員として張鍾煥、孫益基、權泰鎬、金洛衡、白大潤、趙銀石の六名を撰び全員を三つのグループに分ち、

第一グループ責任 尹章赫、張鍾煥

第二グループ責任 孫益基

第三グループ責任 文哲洙

と定め各グループ毎に主義の研究を爲すことに定めた。尙大邱府内に於ける各公私立學校生徒に對し主義の宣傳を爲すこととし夫々の學校に緣故深き者を拔擢し次の通り分擔を定めた。

大邱高等普通學校

張鍾煥、文哲洙

大邱農業學校

權泰鎬

大邱商業學校

張元壽、李月峯

大邱私立啓聖學校

鄭復興、鄭壽崗

大邱私立嶠南學校

李鳳在、趙銀石

大邱師範學校

金鳳九

大邱女子高等普通學校

金鳳九

斯く陣容全く整ひ主義の研究及宣傳に努めた結果多數の盟員を擁するに至つた、然し一面秘密漏洩の虞あるに至つた爲中央幹部に於て協議の未更に完全なる組織に改むることに決し一應結社を解體することになつた。

革友同盟

昭和二年十二月新友同盟幹部等は結社の組織を朝鮮共產黨の組織方法に倣ひ多くのヤチエカ(細胞團體)を設けヤチエカ會員には中央部を秘密にし各ヤチエカ間に於ても相互に其の存在を秘し恰も一ヤチエカ獨立體の如き秘密結社を組織することとし結社を革友同盟と名付け綱領標語其の他組織方法を次の

通り定めた。

綱領

- 一、我等はマルクス主義的革命戦術を涵養す
- 二、我等は朝鮮民族の解放運動を圖る

標語

- 一、革命家は絞首臺を恐るゝなかれ
- 二、被壓迫民族の絶對勝利を期す

中央部組織

秘書部委員	張	赤	宇
財政部委員	李	月	峯
宣傳部委員	金	洛	衡
組織部委員	尹	章	赫
政治文化部委員	張	鍾	煥
調查出版部委員	孫	益	基

ヤチエカ責任

第一ヤチエカ責任

尹 章 赫

第二ヤチエカ責任

張 鍾 煥

第三ヤチエカ責任

孫 益 基

第四ヤチエカ責任

金 洛 衡

第五ヤチエカ責任

李 月 峯

斯く陣容を整へ毎土曜日曜にヤチエカ會中央幹部會を開き一般社會的訓練の素地を作る爲政治經濟の重要問題を討論し朝鮮の革命は如何にして爲すべきかに就いて、

革命の様式は議會に依る平和手段と闘争に依る暴力手段の二つあるが自主權を有する國は議會主義に依ることが出来るけれども朝鮮や印度の如く自主權を有せざる國にありては暴力主義に依らなければならぬ、革命の策源地としては滿洲若は露領を適當とする。

と論じ民族問題に關しては、

朝鮮の民族運動は自然成長期より目的意識期へ經濟運動より更に政治運動に方向轉換して遂に民族單一黨を樹立した、之が促進の役割を勤めたのは新幹會であるから此れを支持すると共に過去の派閥的團體を全部解體し全鮮的に青年農民勞働の三同盟を決行せなければならぬ。

と論じ又支那問題に關し、

三民主義革命完成後は當然の歸結として朝鮮の革命が實現せらるゝのであるから國民政府を支持し北京政府張作霖を打倒し帝國主義政策を撲滅せなければならぬ。

等の論議を重ねた。ヤチエカ會に於ては唯物史觀又は資本論の講義解釋等を行つて居た。政治文化部委員張鍾煥は大邱高普校で當面の學生問題の題下に朝鮮の教育制度は帝國主義擁護の奴隸教育で日本民族同化教育を強制し朝鮮民族の尊嚴を蹂躪し民族精神を癩痺せしむる非人道的教育である」と論じた、調査部委員孫益基は帝大の内鮮人差別と題して民族思想を煽る演説を試みた、斯くして居る間に各ヤチエカ會員が中央本部の處在を知る様に

なつて盟員の統制に缺ぐるところが出来て來たので中央幹部に於て協議の未本部及ヤチエカ會員を合併し一大結社を作ることゝして昨年二月再び組織變更を行ふに至つた。

赤友同盟

綱領

一、我等はマルクス主義的革命的革命戰術を涵養す

二、我等は被壓迫民族の解放運動を爲す

中央部組織

庶務部、政治文化部、組織部、宣傳部、調査研究部、出版部の六部を置き委員を設けた。

グループ組織

學年別學校別に九のグループを設け責任者を置くこと新友同盟莖友同盟の時に同様であつた。

此の同盟の發會に際し朴得龍は開會の辭として、

吾々を壓迫して居る資本主義社會は金城鐵壁の如く固く構へて居る此の壓迫に對する無産大衆は唯々鞏固なる團結に依つてのみ彼等の羈絆より脱し得られるのである殊に現今朝鮮の如きは日本帝國主義の横暴に依り二重三重の壓迫を被れるに相到するとき三嘆尙止まざるものがある然し朝鮮の社會運動も漸次進展して其の組織期に入つた、此の時に當つて吾々學生も其の步調を一にして矛盾せる社會の現状を打破し萬人平等の新社會を建設せなければならぬ、之が爲には會員が一致團結して階級鬭争の第一線に立つて牢獄を恐れず勇往邁進せなければならぬ、最後の勝利は吾等に來るであらう。

と論じた、爾來屢々例會を開き會費を徴し或はマルクス主義の理論に關し、或は又時事問題政治問題に關し不穩の演説を爲し又は論文の起草等を繰り返して居たが偶々本校に於て成績不良者十六名(盟員數名あり)を退學處分に附したことに關し緊急幹部會を開き張赤宇金聖七の兩名は學校當局の暴壓政策を痛論し

(一) 大邱高普暴壓政策又は恐怖政策反對同盟を組織すること

(二) 在學

生は一齊同情同盟休校を斷行すること (三) 退學生は學校當局の暴壓政策に對する真相を舉げて總督又は知事及學務局に陳情書を提出し復校運動を試みること (四) 學校當局の暴壓政策を一般新聞紙上に發表すると共に全鮮社會團體及中等學生に聲明書を發送すること等の動議を提出したところ皇甫善外大多數は之に贊同したが朴得龍は本件を公然と決議するに於ては事端發覺の曉には列席幹部は連帶責任を負はなければならぬから提案の範圍内に於て部分的に秘密に決行するが適當であると意見を陳べた之に對し趙銀石、金洛衡等は赤友同盟の幹部會に於て秘密を云謂するは同盟自體を無視し列席幹部を侮辱するものであると反駁して論争したが結局朴得龍の意見に従ふこととなつた、此に於て張赤宇等一派は次の聲明書を起草した。

資本主義の末路たる帝國主義の横暴は全世界の弱少民族を壓迫しつゝあり殊に日本帝國主義の横暴政策は政治的經濟的に二重にも三重にも我が民族を餘地なきまでに壓迫せり教育の神聖は口實にして徒に幼兒の個性を踏み壞しつゝあり見よ今回大邱高普強制退學處分をこれ資本主義末路たる暴

壓政策にあらずして何ぞ茲に於て我々は、大邱高普の罪狀を暴露し、滿天下諸君に泣訴す全國的に輿論を喚起せよ、全國的に大邱高普暴壓政策反對同盟を組織せよ、學生諸君？、諸君は如斯暴壓教育を甘んじて受くるか、今日他人の事たるも明日諸君の受くべきことに非らざるか？、諸君は全國的に同盟休校を斷行せよ暴壓政策に反對せよ

四月二十二日定期總會を開き役員の改選を行つた、此の改選は本同盟を在學生のみの力により繰縦することとし卒業生を排除したのであつた、次で恒例に依り各部の経過報告を爲し研究事項に移り (一)支那革命と馮玉祥蔣介石の批判 (二)日本無產政黨の狀況 (三)野田勞働爭議等の説明を爲して散會した然るに四月二十八日更らに緊急總會を開き皇甫善、金聖七等一派は大邱高普暴壓政策反對同盟の提議は其後盟員互に責任を回避し提議中一として行はれざるに憤慨し盟員の無誠意と團結力の乏しきを理由とし脱會を申出た依つて他の幹部等は極力慰撫調停に努めたが遂ひに意見纏らず結局結社の自然解散を見るに至つた。これ以來盟員は各派に分れ各類似の結社を組織した。

一、友黨

張鍾煥權泰鎬一派は四月三十日不平分子指導分子を排除し一友黨を組織し綱領として

一、我等はマルクス主義的の革命戰術を涵養す

二、我等は學生運動を實踐的に行ふ

の二項を掲げ庶務部、財務部、組織部、政治文化部、調査部、出版部を置き五つのグループを設けた。

嶺 州 會

金聖七一派は六月上旬に至り、將來朝鮮に於ける學生運動は現制度の如き民族精神を蹂躪せる殖民地奴隸教育の課程のみに甘んぜず廣くマルクス主義の思想を研究し共產社會實現の先鋒となり民族獨立の目的を共產革命に依り達すべくこれが爲には團體的訓練を積むの要ありとなし嶺州會を組織し綱領を

一、朝鮮學生の使命を完ふす

とし庶務部、政治文化部、研究部、組織部、調査部の六部を置いた。

우 리 同 盟

趙銀石尙戊祥一派は朝鮮に於ける社會運動の現状を論じ新幹會又は青年會の如き緩慢なる運動にては到底マルクス戰術に依る無産革命の實現を見るは不可能であるから假令少數なりとも決死的同志を以つて團結し之に依り所懐の目的遂行に邁進すべしと爲し八月下旬に至り우리同盟を組織し綱領を

一、我々はマルクス主義的革命戰術を涵養す

二、我等は鞏固なる團結を圖る

とし庶務部、政治文化部、宣傳組織部、調査研究部の四部を置いた。

丘 火 會

皇甫善、文祥佑一派は最近に於ける一般學生の傾向は科學的思想の研究に傾けるものあるを悟りマルクス主義の書籍に親しみ遂に現代資本制度の不合理を呪ひ且つ朝鮮人としての民族的精神を蹂躪する殖民地教育制度の押へ難き不満を抱くに至り學生運動の解放と理想的共産社會の建設に進むべく之が

爲には團體的訓練の必要あるを認め昭和二年十一月新友同盟と相前後して丘火會を組織し綱領を、

一、我等は社會科學を研究す

二、我等は鞏固なる團結を圖る

とし庶務部、財務部、文化部を置き主義の研究を重ねて居たが後赤友同盟の一グループとして合併した。

斯くの如く大邱高普校を中心とする秘密結社は既に爛熟の域に達し或は露西亞ソビエツト政府の新經濟主義を論じスターリン對トロツキの政策に付き批判を爲し或はレーニンの著書ロシア農村問題、帝國主義論、大山郁夫著民族階級意識、平凡社發行社會思想全集、雜誌朝鮮の光、プロレタリア藝術等の輪讀を爲し或は宗教の否認無神論等を唱へ此の儘では過ぎられない状態であつたが遂に皇甫善、文祥佑一味の丘火會及金聖七一味の昔州會が中心となつて九月二十六日同盟休校するに至つた。彼等は盟体決行までに昔州會にありては實に十四回丘火會にあつては十一回の會合を重ね同級生の爲人を研究し

賛成派、反動派、中間派スパイ等の人別を推定し周到なる計畫の下に實行に入つたのであつたが之が爲却つて斯る結社の存在が發覺さるゝ動機となつたのであつた。此の秘密結社事件の中心人物たる張赤字は同志に語つて曰く、

自分は朝鮮共產黨慶尙北道責任である朝鮮共產黨は上海派とイルクツク派がある。上海派は其の勢力を火曜會にイルクツク派はソウル青年會に扶殖し爾來兩派相對立して朝鮮に於けるヘゲモニ(覇權)を握らんとして暗闘を續けて居た。これが爲國際共產黨の承認を得るに困難であつた、京城で檢舉された第一次第二次兩度の共產黨檢舉は火曜會系の共產黨で新義州で檢舉された第三次の共產黨はソウル系であつた。昭和二年四月京城で社會運動者中央協議會開催を機會に火曜會殘黨とソウル系殘黨とが第四次に聯立黨を組織した、共產黨にはP黨とY黨がある、露西亞では二十二歳以上をP黨員にするけれども朝鮮では二十四歳以上をP黨に編入するのである。入黨資格は相當共產主義的訓練を受けたものでなければならぬ、黨員は月収入の百分の一を黨費として納めなければならぬ、共產黨の綱領は私

有財産制度の否認を目的として居る、黨の組織は秘書、財務、政治、文化、調査組織、出版等の中央幹部があり道には道幹部の下にヤチエカがある。

黨主は國際共產黨と連絡し宣傳費の支給を受けるのである。Y黨員中成績優秀で志操確實なるものは露西亞共產大學に留學せしむることになつて居る朝鮮共產黨員は總數二百二十名で慶北には約三十名の黨員が居る。

と語りY黨員たらんことを勧誘したので尹章赫、張鍾煥以下九名が高麗共產黨青年會に入黨した。

又或る談話會席上に於て語つた各人の社會科學研究の動機感想等を見るに次の通りである。

李康福 自分の父は曾つて大正八年制令違反として牢獄に繋がれたことがあつたその事が常に腦裡に徹して離れない自分が社會運動に携はる様になつたのはこれが爲である目下自分の親戚たる權友會大邱支會長李春壽(女)に民族運動の指導を受けて居る。

李相吉 自分の四寸の兄李相命は大正八年萬歲騷擾の際同志と共に警察に

引致せられたが自分は此の兄より社會運動の指導を受けた。

金東光 自分の父は熱烈なる民族主義者で常に幼少の頃から其の感化を受けて來た。殊に昭和二年中京城養正學校在學中の友人より社會運動の教示を受け或る時は煩悶の未自殺を覺悟したこともあつた自分は社會弱少民族の爲には犠牲的決心を有つて居る。

金聖七 自分は新寧公立普通學校在學中擔任教師李萬根先生より民族主義の感化を受け普通學校五年の時から研究を續けて居る。

李慶錫 自分は目下東京の勞働組合に藉を置き社會運動に従事して居る實兄から指導を受けた。

と語つた。

(二) 京城學生團の秘密結社

1 黨

昭和三年二月京城語學院宋炳霖、普成高普校具鏞會、中東學校崔星煥、李哲憂、李敏湜、中央高普校朴判同、柳秉根培材高普校韓炳宜、金炯元、養正

高普校李庚培、鍾路青年會館南相瓚等は各當該學校代表者として會合し、朝鮮に於ける思想運動は一九二五年度以來從來の部分的經濟的運動より全體的政治的マルクス主義の運動に方向轉換を爲したるに獨り學生運動は朝鮮學生社會科學研究會其の他があるけれども何等見るべき活動なく衰微状態にあるは遺憾に堪へざる次第である。依つて學生運動も一般思想運動と同一軌道を辿り從來の局部的運動から全體的マルクス主義運動に進出すべき時機に際會した。吾等は今後學生運動をしてマルクス主義政治闘争へ導くべき任務を遂行する爲鞏固なる團結を作らなければならぬ。

と論じ秘密結社を組織することゝなつて結社名及綱領其の他を次の通り定めた。

結社名 一黨

綱 領

- 一、本黨は之を「一黨」と稱す
- 二、本黨はマルクス主義の研究並に學生運動の統一を期し之をして共產主

義的ならしむ

三、學生の現實的利益を擁護する爲組織を鞏固ならしむ

組 織

中央執行委員長

宋 炳 宋 來

責任秘書

宋 炳 宋 來

秘書

李 哲 夏

組織部委員

崔 星 煥

安 三 遠

閔 忠 鉉

宣傳部委員

金 雲 善

朴 判 同

檢察部委員

韓 炳 宣

崔 星 煥

文 般 鍾

右會合に於て三月一日獨立騷擾第十回紀念日に宣傳ビラを撒布し一大デモンストレーションを起さんとの發議があつて各友誼團體に交渉委員を派遣することに決したが官憲の嚴重なる取締に依つて遂ひに實現を見るに至らなかつた。地方細胞の組織は學期末及夏季休暇等歸省の機會を利用し社會科學に興味を有し且つ戰鬪的分子をして各當該地學校内に秘密細胞を組織し學校を單位として漸次一道に押し擴め優秀なる細胞を選定して正黨員に編入すること等を協議した。三月十日第二回中央執行委員會を開き朴判同は中央高普校には社會科學に興味を有する者あるを以つて近く細胞組織の可能性あるべき旨を報告した。閔忠鉉は黨の存在に關し朝鮮には朝鮮學生會があるので黨存在の必要なからんと提言した、之に對して宋炳來は曰く朝鮮學生會は専門學生を以つて組織したもので局部的のものである然るに現時の學生運動は全體的に進展の時機に際會して居るので朝鮮學生會の如き表現的局部的組織を避けて裏面的全體的組織を以てするにあらざれば吾々の目的を達成することは出来ない故に本黨の存在が必要であると論じ一同を首肯せしめた。四月九

日第三回中央執行委員を開き學年末休暇歸省中に於ける細胞組織に關し文般鍾は全南光州高等普通學校に細胞組織を試み同志發見に努めたけれども目的を達し得なかつたことを報告し李哲夏は忠南公州高等普通學校に二名の同志を發見したが未だ細胞組織の運に至らなかつた旨を報告した、六月九日韓炳宣は培材校生徒八名に對し黨の趣旨を説き細胞の組織を完成した、又李哲夏は暗號を工夫して諺文の母、子音を亞拉比亞數字に代へ之れを分數式に組立つる法を案出した、尙韓炳宣は這般の御大典を期とし騷擾を惹起せしむることとは朝鮮獨立の機運を促進せしむべき最良の方法であると爲し宣傳ピラ作成の爲資金を仰ぐべく在京主義者等に謀つたが成效覺束なきを諭され失敗に歸した、然し彼は此の機會を無爲に過すは甚だ遺憾なれば所屬學校に同盟休校を起し以て當局の朝鮮統治に悅服せざる意志を表明せんと考へ同級生と數回の會合を重ね事既に成らんとしたが四年生鄭洛容が從來各學校の同盟休校の結果を見るに何れも失敗に歸して得る所は唯犠牲者の續出のみである殊に盟休決行の理由及事實が一般に周知されない場合に於て然りである今回のこと

は韓炳宣獨斷の計畫に成れるもので多くの關知せざるところである、斯の如きは唯犠牲者續出の外何等奏效の途なきものであるから賛成は出來ないと反對したので衆之れに従ひ遂ひに此の計畫も失敗に終つた。此に於て彼れは憤慨の餘遂に校長宛「退學を韓炳宣」と血書したる退學届を校長室に放り込んで姿を匿した、然し之が因となつて「黨事件」が發覺するに至つた。

讀 書 會

朝鮮科學研究會執行委員長姜炳度は倣新學校生徒崔星煥、培材校李鉉相、中東校李哲夏、青年會吳在權等と共に朝鮮學生の民族的意識を喚起する爲盟休事件發生の際は極力之を支援すべきことを昨春以來協議し來りしが六月に至り遂に共產黨のヤチエカ組織に倣つて中央、第一、徽文、培材、中東、倣新、普成、基督教青年會館等に秘密結社讀書會を組織するに至つた昨年夏養正高普校及倣新同盟休校に際しては屢々常務委員會を開催して直接指導の任に當つた又本結社の中心人物姜炳度及李哲夏は第四次共產黨事件に關係し高麗共產青年會員であつたことが判明した。

(三) 其の他學生秘密結社

東萊高普校生の秘密結社

東萊高等普通學校生徒金東得等五名は昭和二年六月以來共產主義の實現を目的とする秘密結社を組織して居た。

革潮會

慶南東萊生れ梁正或は昭和二年十二月釜山第二商業學校生徒尹昊權東萊少年同盟執行委員長金圭直等十一名と共に現政府を否認し經濟組織の變革を目的とする秘密結社革潮會を組織して居た。

無産少年會

慶南少年聯盟執行委員長金鍾泰は昭和三年八月以來密陽農蠶學校生徒朴玄劍、林幹綠等と共に現社會制度を呪咀し共產主義社會の實現を圖る爲秘密結社無産少年會を組織せんと密に同志を糾合して居た。

美興學校事件

咸南永興郡美興學校は大正十四年頃より左傾主義者梁宗源、裴東健等が之

を操縦して居たが先般梁宗源が同校々長となるに及び左傾主義者を集めて教師とする等面白からぬ形勢が見へたので注意中のところ教師韓道列は五六年生に對し現制度を否認し民族主義共產主義の講述を行ひ生徒に之を筆記せしめて居た。

興 農 社

水原高等農林學校黃鳳善、張保羅、金燦道、高在千等の一味は學科の研鑽を名として昭和二年六月頃より朝起會を開き教師の監督を避けて民族主義の呼吹に努めて居たが團結の必要を感じ將來の農事改良を名として興農社を組織して民族解放運動の促進を圖つて居た。

八、最近向學熱推移の裡面

文盲退治運動……ソビエツト民族政策……世界革命……主義宣傳の目標
 朝鮮共產黨に對する指導

近來諺文の新聞雜誌が頻りに朝鮮文化を唱道し文盲退治（此の語を在中國韓人青年同盟も用ひた）なる言葉を用ひて諺文の普及を唱へ冬季農閑期を利用し農村啓蒙運動として地方青年團に對し講演會、討論會、講習會、夜學會等に依り諺文讀本を無料配付し地方に新文化を紹介すべく指導し斯くする事は農民の蒙を啓き當局の農事改良政策の基礎を作るのであると辯明を加へて主張し最近黃海道に於ては百五十餘箇所^ノに文盲退治運動を起すことゝなつて其の實行方法を決議したことが報道された 教育の慾求普及は何れの時代何れの社會に於ても誠に好ましきことながら今此の傾向を仔細に注視するとき彼の露西亞ソビエツト政府が民族政策として民族文化の復興を其の一眼目として居ることに思ひ當るのである。

トルコ教育總長はレーニングラードに於ける教育家會合の席に於て余が幾多ソビエツト教育機關を歴訪して最も深く感嘆したことは勞農子弟の教育と「あきめくら」退治方法であると演説した。文盲退治と「あきめくら」退治其處に何等かの暗示を悟らすには居られない。

ボルセビキーは勞資關係に於ける階級闘争を以て資本主義國に當ると同時に弱少民族に依つて帝國主義國に對抗する作戰方針を樹て前者に依る革命運動は主として無産階級の多數にして産業組織の完備せる歐米に於てこれを行ひ後者即ち民族闘争に依る革命運動は主として被壓制民族の最も多數なる東洋に於てこれを行ふこととし其の目的を唯一つの世界革命に置いて居るが其れに進むに二つの途を執つて居る即ち(一)ソビエツト聯邦内の東洋諸民族に對しては廣汎なる自治權を與へ其の文化と經濟的地位の向上を圖り其處にソビエチズムの徹底を圖ると同時に(二)聯邦領外の東洋に於ける植民地屬領國及半獨立國に對しては其の民族解放運動を援助し宗主國の勢力を驅逐し以て世界革命の豫備軍(レーニン)は世界革命の前衛たるべき歐米先進のプロレタリア

に對し東洋被壓世民族を稱して世界革命の豫備隊と名づけた）を作り帝國主義の背面を衝かんとするのである。而して此の政策を實現せんが爲に聯邦内の東洋民族共和國を以て聯邦外の民族に對し實物宣傳政策即ち聯邦領内の既に赤化した民族を手本として其の隣境の民族にこれを宣傳し彼等をしてこれに倣はしめるのである、ソビエツト政府は此の政策を以て近東中東極東諸民族に對し民族の解放を以て革命運動を援助しトルコペルシヤアフガニスタン内外蒙古等に於て其の政策に成功した。然し最も期待を置いた印度に於て失敗した其の原因を印度人の無教育とガンヂーズムと英國（當時勞働黨内閣であつたに係らず徹底的に彈壓を加へた）の必死的防禦とに於て居る、レーニンは印度のアロレタリア階級は其の數こそ多いが多くの無教育で階級意識が無く勞働者間の團體組織が幼稚で政治的訓練が乏しいと嗟嘆して遂に矛先を支那に向けたのであつた。

世人多くは赤化運動を目して思想未熟の學生や勞働者の雷同的騷動位に見るか若しくは直に現状破壊の脅威と爲すものがあるがソビエツト政府の政策

は東洋諸弱少民族に民族意識を注入し民族主義の革命を起さしむると同時に其宗主國の勞働者を啜噬して共產革命を起さしめ假令共產革命に至らずとも少くともこれに内應せしめ内外相呼應して一舉に帝國主義國を覆し以て弱少民族をして其の本國の羈絆を脱せしめ共產主義革命に導き（露西亞の革命もケレンスキの政治革命からレーニンの經濟革命に轉化した）更に世界革命を實現しあわ良くばソビエツト聯邦に合併せんとするもので其の理想はビータ大帝やカイゼル皇帝の夫れより一層偉大なるものである。此の大理想大抱負の下に彼等は帝政時代の露西亞が採りたると同様にバルガンに彼斯にアフガニスタンに印度に支那に朝鮮に其の銳鋒を磨いて居る。然し帝政時代に於ては帝國主義軍國主義に依る侵略を以てしたがソビエツト社會主義露西亞は之に代へるに民族主義と共產主義を以て臨んで居る。帝政時代に於ける對外政略はバルカンに於てクリミヤに於てペルシャに於てアフガニスタンに於て又近くは滿洲に於て常に失敗を重ねたが民族主義共產主義を以て臨めるソビエツト社會主義露西亞はトルコに於てペルシャに於てアフガニスタンに於て

内外蒙古に於て又近くは支那の革命に於て夫々相當の成功を收め彼等一流の外交手段に依り表面に現はさずして夫の勢力を扶殖して居る。

彼等社會主義國家の信ずるところは資本主義國家と社會主義國家とは兩立し得ない。前者が後者を白化するか後者が前者を赤化するか二者其の一に歸すると云ふマルキシズムの原則を信奉して居るのである故に彼等は自己存立の必要上其の宣傳も根強く執拗に辛辣であり彼等の世界革命も此の理論に根ざして居るのである。

ソビエツト露西亞に於ては共產黨の配下に青年共產黨を置きその下に亦少年及幼年の共產黨があつて年少の黨員候補者は年長黨員の指導を受け長ずるに及で共產本黨員の補充に當り新陳代謝する組織になつて居る然るに文明の低級なる國にありては老年は云ふ迄もなく壯年も亦餘りに無智であり時代遅れであつて到底自ら新しい制度や組織の改革にあたる能力を持たない。故にレーニンやスターリンは東洋の半開國に於ける革命運動には老年は全く當に
ならない壯年に對しても餘り多くの期待を置くことは出来ない主として青年

若くは少年に依つて事を成すの外は無い文明の程度が低ければ低い程夫の國の革命運動は年少者の力に俟たねばならぬとの見地から現に蒙古に於ても最初から幼少年の赤化に最も大なる注意を拂つた。

纏つて我が朝鮮人の思想を考ふるに所謂事大主義思想が數千年の傳統を爲し併合以前に於て既に露西亞黨があつた事は記憶に新たなるところである。

大正八年の騷擾も一面から視れば親米傾向の現れであつた、今日に於て露西亞の後援を排除せんとするが如きことの有り得ないことは衆の齊しく首肯し得らるゝところである。現に露西亞ソビエツト聯邦共產黨中央委員會極東部に於ては國際共產青年會の組織に關し指導命令を發して曰く、

「地方に青年會を組織する爲宣傳部を通じて青小年を會員に加入せしめ組織の根本を強固にせなければならぬ、夫れには黨委員の責任管下にある青年特に修學中の青少年中からはじめ之を細胞組織とせなければならぬ、目下の時代は無産階級運動がソビエツトの建設條件に従つて組織せらるゝ時代である吾々は共產黨の新しい後繼者を養成し十分なる階級意識を有する無産階

級を造成する事を講究すべきである、そして新後繼者に共產主義の精神を研究せしめるに都合の良い組織と方法を定め彼等青年の革命に對する熱誠と奮勵を社會智識方面に導き其の成效を收むることに努力せなければならぬ」と教へて居る。尙青年の指導教養に關する詳細なる指令の要點を略記すれば

一、中央委員會極東部で刊行した印刷物により青年等に革命闘争の總ての經驗體驗を傳へ資本主義社會に於ける矛盾と階級闘争を會得せしむる

こと。

一、學生中に黨の俱樂部網を作り之を中心として國際青年會を組織すること。

一、國際青年會の機關は労働者及村落にある細胞を指導する人物の養生に努むること。

一、農村青年に共產主義を吹き込み政治的範圍を擴張し農村青年の文化程度を向上し諸刊行物を供給する等の方法に依り組織的の宣傳を一層力強く行ふこと。

一、近來勞働青年間に勃興せる運動競技は保健體育上は勿論多數青年と共產青年會員との連絡を密接にする爲にも之を利用せなければならぬこと。

一、工場では青年勞働者を體育俱樂部に加入せしむる必要があること。

一、初等學校を發達せしめることは國際共產青年會の爲ばかりでなく全黨にとつて最も必要なことであるから學校では階級意識を有する無産階級を養成して第一線に立つ多數の無産階級を補充する重大な任務を實行せなければならぬこと。

一、多數民衆と不斷の連絡を有する無産學校網を出来るだけ保護擴張し學校内に於ける教育事業就中政治教育事業に力を注ぎ青年の共產主義運動を中心として革命訓育に力を集中すること。

等を指導して居る。

此の指令を受けた朝鮮共產黨及高麗共產青年會では學生に對する共產主義宣傳に力を注ぐこととし高麗共產青年會に學生委員を設け學生部を置くこと

し各道委員に對し學生に對する主義の宣傳方を指令したる結果大邱高普事件京城に於ける「黨讀書會等が組織せらるゝに至つた三一紀念日に於ける全鮮的一大デモンストレーションも此の朝鮮共產黨及高麗共產青年會の計畫であつたことが判つた。

前章に陳べた在中國韓人青年同盟に於て掲げた鬪爭スローガンに於ける特殊教育權の獲得とは何を意味するのであらう。青少年文盲の退治も單に善良なる向學熱の表現とのみ見て樂觀すべきでないことは前記共產黨の指令に依り明瞭となつた。男女共學の主張、宗教の否認、學生の要求する朝鮮語教育、學校自治の要求等皆一としてソビエツト政府の制度に倣つて居ないものはない、大邱に於ける學生秘密結社に於て一學生は曰く支那の三民主義革命完成後は當然の歸結として朝鮮革命が實現せられるのであるから國民政府を支持せなければならぬと論じて居る。

當然の歸結とは露西亞の援助を期待するものにあらずして何であらふ。然るに支那の三民主義革命は露西亞の思ふ通りには行かなかつたにもせよソビ

エットの金と武器と智慧の援助を受け殆んど成功の域に達した、若し露西亞が東洋赤化政策即ち彼等の民族政策を捨てざる限り彼等は更に朝鮮に力を注ぐべき時期に達したと云へやう。

昭和四年三月二十五日印刷

昭和四年三月二十八日發行

朝鮮總督府警務局

京城府南米倉町一五九番地

印刷所 行政學會印刷所